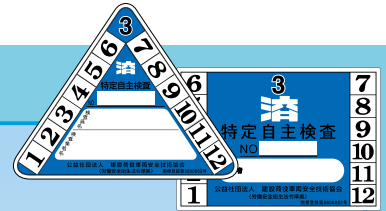


建設荷役車両



VOL.43 No.252

第**252**号
2021-3

令和3年3月1日発行（隔月1回1日発行）



令和3年特自検啓発イメージモデル
葵わかなさん



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

URL <http://www.sacl.or.jp>



とくじけんくん

建設車両用タイヤに待望の新シリーズ登場！！



クッション性に優れた
穴あきノーパンクタイヤ

製品サイズ

- ・16.00-25
- ・17.5-25
- ・20.5-25
- ・23.5-25 他各種

大型ホイールローダー対応!!
各機種用ホイールも製作します
ホイールとセットで更にお買い得!

スノー用パターン
大型ニューマチックタイヤ

製品サイズ

- ・16.9-24 12PR TL
- ・17.5-25 12PR TL (今冬販売開始)
- ・20.5-25 16PR TL (今冬販売開始)

大好評スノーパターンに
待望の大型サイズ登場!!
ピン打ち場所もしっかり確保



産業車両用 建設機械用タイヤのことなら

MRC 丸中ゴム工業株式会社

TEL:052-889-5556

FAX:052-889-5558

本社:愛知県名古屋市瑞穂区二野町4-11

URL : <http://www.marunaka-rubber.co.jp>



『建設荷役車両』 252号 (2021・3月号) アンケートのお願い

(公社)建設荷役車両安全技術協会
広報委員会 行(ご回答期限: 令和3年4月16日)

送信先 FAX: 03-3221-3665
E-mail: koho@sacl.or.jp

※ この用紙は必要な場合はコピーしてお使いください

ご記入頂いたアンケートは、上記宛先まで、FAXもしくはE-mailでご送信下さい。

なお、本アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください(詳細は本用紙裏面を参照)。

※回答期限までにご回答を頂いた方の中から抽選でQuoカード1000円分を5名様に贈呈いたします。(結果発表は発送をもって代えさせていただきます)

◆ 下記の記事について、あてはまるものを一つお選びいただき□に✓をご記入ください。

記事番号	記事(掲載頁)	読んだ(あてはまるものを一つ選んでください)					読んでいない
		満足(興味をもった)	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満(興味をもてず)	
1	広報 グラフで見る特自検 第6回(5頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	広報 特自検Q&A 第6回(9頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3	イラスト災害事例(13頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4	技術解説 トヨタ GENEO (1.0~8.0tエンジンフォークリフト)、ショベルローダー (0.7~1.5t)の商品改良について(17頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5	安全技術講座「我が社のセールスポイント」(24頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6	製品紹介(32頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7	Topics 令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて(40頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8	Topics 油圧ショベル エンジンファンベルト交換作業安全性改善活動について(43頁)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

◆ 満足した(または不満の)記事は、どういう点が良かった(良くなかった)ですか。

記事番号	良かった(良くなかった)点

◆ 本誌全般の感想や取り上げてほしい話題、講座のテーマなどありましたらご記入ください。
また「特自検Q&A」コーナー(本号9頁掲載)では、特自検に関する質問を募集しています。
質問は、こちらにご記入ください(欄が足りない場合は自由に用紙を追加してください)。

● 名 前(フリガナ):	● 年齢(任意)	● 性別(任意)
	歳	男・女
● 勤務先名称:	● 役職:	
● 勤務先所在地: 〒 -		
都 道 府 県	TEL:	
● 職種(○で囲んでください): 1 代表・役員 2 営業・サービス 3 設計・技術開発等 4 現業・製造等 5 総務・経理等 6 その他		

ご協力ありがとうございました (ご記入の個人情報は抽選品発送及び個人が特定できない形の集計・調査に使用させていただきます)

■「機関誌アンケート」へのアクセス方法

建荷協ホームページ (<http://www.sacl.or.jp>)

- ➡会員ページ（ユーザー名 saclhp / パスワード saclhp 入力）
 - ➡機関誌アンケート（「252号（2021-3月号）アンケートへ移動」クリック）
- 以下アンケートにお答えください、入力時間は数分です。

会員ページ

The screenshot shows the homepage of the Japan Association of Construction Vehicle Safety (SAJHP). The top navigation bar includes links for 'お問い合わせ' (Contact), 'サイトマップ' (Site Map), '利用規程' (Terms of Use), and '会員' (Member), which is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from the text '会員ページ' above. Below the navigation bar are icons for '特自検' (Special Vehicle Inspection), '研修・教育' (Training/Education), '頒布品' (Distributed Items), '災害事例' (Disaster Cases), '協会案内' (Association Information), and '支部' (Branches). The main content area features a large banner for '特自検' (Special Vehicle Inspection) with a photo of a woman and the text '建設荷役車両に関わるすべての企業のために' (For all companies involved in construction vehicles). Below the banner is a section titled '新着情報' (New Information) with two columns of updates. The left column is titled '建荷協からのお知らせ' (Notice from SAJHP) and the right column is titled '行政・関係団体等からのお知らせ' (Notice from Government and Related Organizations).

建荷協からのお知らせ	行政・関係団体等からのお知らせ
2021年1月13日 (株) 東協扱いの詳細記録表を追加	2021年1月6日 【厚労省】「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する

建荷協ホームページ トップページ

より良い誌面作りのため、アンケートにご協力ください。

なお、FAX（もしくはE-mail）とWEB上から重複してアンケートを回答された場合は、WEB上からの回答を採用させていただきます。



とくしけんくん

- ◆ 油圧ショベル エンジンファンベルト交換作業安全性改善活動について
- ◆ 令和3年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表
- ◆ 令和3年度 各種研修の受講料
- ◆ 令和3年度版 建荷協発行図書等のご案内



とくしけんくん

建設荷役車両

2021-03 VOL.43 No.252

INDEX

■ 巻頭言

一人ひとりの行動 ～ 事故災害防止と感染防止 浜島 和利 4

■ 広報

グラフで見る特自検 第6回 5

特自検Q & A 第6回 9

■ イラスト災害事例 13

■ 技術解説

トヨタ GENE0 (1.0～8.0tエンジンフォークリフト)、ショベルローダー (0.7～1.5t)
の商品改良について 柿元 貴志 17

■ 随想

愛媛に思う 吉川 修司 22

■ 安全・技術講座

我が社のセールスポイント

..... 茨城県支部 日立建機日本株式会社 関東支社 茨城支店 24

..... 群馬県支部 東毛重機株式会社 28

■ 製品紹介

大型油圧ショベル「PC1250-11R」/ブルドーザー「D71PX/PXi-24」/小型
次世代油圧ショベル 315 GC/新型ホイールローダ 3機種/次世代ブルドーザ 3
機種/新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY120B-26D」/アップ

& オーバー型電動高所作業車マックスリーチシリーズ「WU09B1RN」/大割用 小型油圧圧砕機（3～5ton大割機）「Vx35」	32
---	----

■ Topics

令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて

第2回 銀賞受賞 「フォーク交換治具」

考案者：静岡県支部 トヨタL&F静岡(株) 富士営業所 40

油圧ショベル エンジンファンベルト交換作業安全性改善活動について

コマツカスタマーサポート(株)九州沖縄カンパニー サービスセンタ

鹿児島地区サービスセンタ ゼロ災サークル TEAM3 ; Island 43

■ お知らせ

建荷協の動き	49
令和3年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表	51
令和3年度 各種研修の受講料	59
特定自主検査者資格取得者名簿（令和2年12月1日～令和3年1月31日）...	60
令和3年度版 建荷協発行図書等のご案内	63
支部一覧	67
編集後記	68

- ・機関誌アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください（詳細はアンケート用紙裏面を参照してください）。



一人ひとりの行動 ～ 事故災害防止と感染防止

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

理事 浜島 和利

日本通運株式会社 執行役員

新型コロナウイルス感染症の影響により、いつもとは異なった年末年始を迎えられた会員の皆様も多かったのではないか。日本国内の感染拡大は収まることなく、政府による緊急事態宣言が1月7日に発出された。医療の逼迫と併せ経済の悪化など人々の生活不安は続いている。(1月中旬現在の状況)

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックはまさに災害である。地震や豪雨など自然災害がおきるたびに言われることだが、人類は自然を克服することはできない。人類ができることは、自然に畏敬の念を払いつつ、いかにして災害に備え被害を最小限に留め、災害に立ち向かってその被害から復興するかということだ。

そのように人類が災害と向き合うときに絶対に忘れてならないことがある。それは、どのような場面においても、この世で最も尊いものは「ヒトの命」であるということだ。人は誰もが幸福に生きる権利を持っている。その権利は誰も侵害することはできない。

例えば、豪雨災害が発生したとき、何よりも第一に人命救助を優先し、被災者救済を行う。これはあたりまえのことだと誰もが思う。

一方、今回の新型コロナウイルス感染症においては、症状のない無認識の感染者が感染対策をせずに、感染症の専門家が指摘する禁止行為を行うことで他人に感染させ、その人

を重篤化させるような事態になれば、それは人権への侵害ということになる。

今のコロナ禍において、感染予防対策を徹底することは自然災害に備えることや被災者救済と同義のように思う。少々こじつけ気味ではあるが、そのような一人ひとりの行動が重要だと改めて感じた。

ところで、現場の支店長時代、従業員の安全を確保すべく、再三にわたり安全の重要性を様々な場面で説いてきた。必ず言ったことは、「安全は全てに優先する」「優先すべきは業務ではなく安全」だと。例えば、フォークリフトによるトラックへの貨物積みこみ作業の際、納品に追われ無理な運転で労働災害が発生したならば、それは業務を優先し、安全を優先していないからだ。

なぜ「安全が全てに優先する」のか。それはまさに人が幸せに生きる権利を尊重することにほかならないからである。不安全行動は事故・災害を発生させ、人が幸せに生きる権利を奪う。尊いヒトの命をも奪うことになる。このようなことを話してきてきた。

どのようなときにおいても、一人ひとりが「世の中で最も尊いものはヒトの命」、「人が幸せに生きる権利を尊重する」ことを思えば、その行動も自ずとそれに準じたものになるのではないか。職場における事故災害防止もコロナ禍における感染防止もその根本は同じであると感じている。

広報

グラフで見る特自検 第6回

特定自主検査に係る現況等の調査結果報告

建設荷役車両安全技術協会 調査部

建荷協における新たな活動施策を企画立案し、特自検のさらなる普及促進につなげることを目的に、「特定自主検査に係る現況等の調査」を実施しました。

令和元年の第1次調査に続き、令和2年に行った第2次調査のアンケート結果がまとまりましたので、本誌にて数回に分けて紹介しています。今号では前号で紹介した人材の不足感についての詳細を引き続き紹介します。

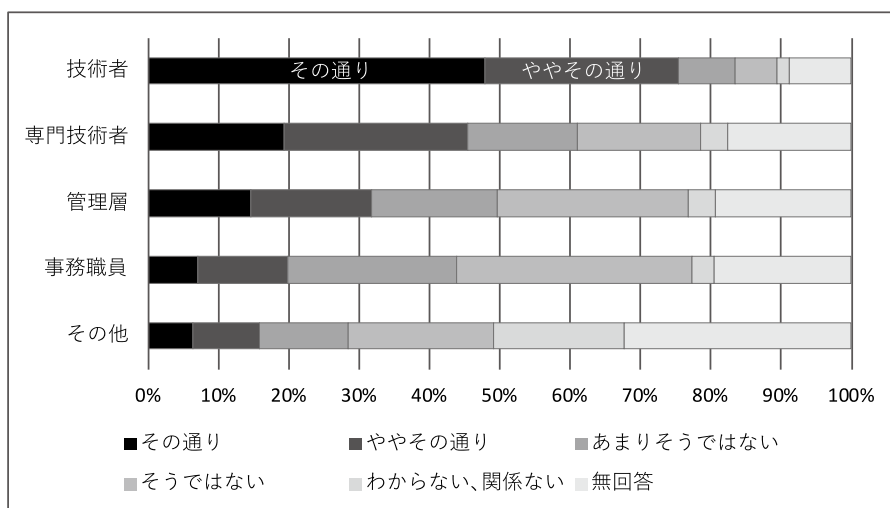
なお、調査の概要については、機関誌第251号（2021-1月）の同記事2. 調査概要をご覧ください。

1. 人材（社員）の過不足について

問1 どのような人材層に不足を感じているか

前号では「アンケートの回答企業（以下：回答企業）」の、その扱い機種別や事業（人員）規模別に、従業員全体の不足感について紹介しましたが、今号では回答企業（1386社）において、どのような人材層に不足を感じているかを紹介します。

なお、人材層については「技術者：サービス員、メカニック社員等」、「専門技術者：サービス課長、フロント等」、「管理者：工場長、サービス部長等」、「事務職員」、「その他の部門社員」の5職種に分類しています。



グラフ1 人材層別の不足感状況（全体）

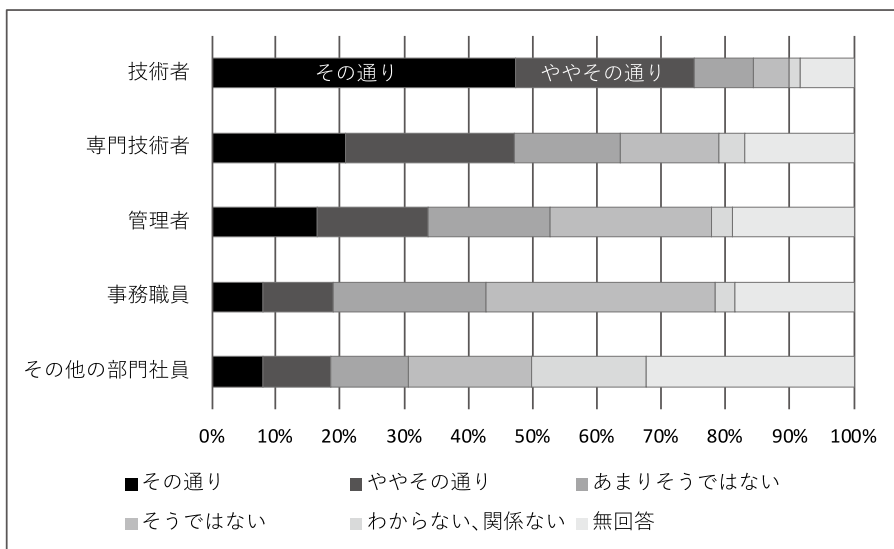
グラフ1からサービス員、メカニック社員等の技術者の不足感について「その通り」と「ややその通り」を合わせた回答が全体の約75%で、不足感が最も高くなっています。

また、専門技術者についても「その通り」と「ややその通り」を合わせた約45%が不足を感じると回答しています。

今回の調査も特自検の検査業者登録をしている会員企業に実施したので、回答企業

は整備や修理の事業が社業全体に占める割合が大きく、整備・修理社員構成比も高いと思われます。常に技術系社員の充足を図る必要がある中での未達が不足感として表れていると推測します。

次に回答企業の主な扱い機種（建機系、フォークリフト系、その他機種系）別に、この不足感についてみてみます。

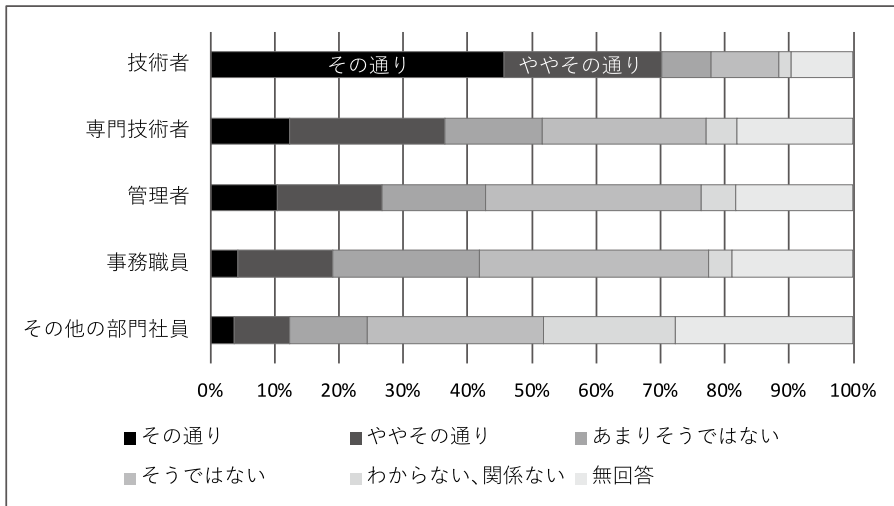


グラフ2 人材層別の不足感状況（建機系）

回答数が全体の約50%を占める『建機系』ではグラフ2が示すとおり、技術者の不足感について「その通り」と「ややその通り」を合わせた回答が約75%、専門技術者につ

いては、合わせて約47%と、グラフ1の全体での回答とほぼ同様になっています。

次は『フォークリフト系』です。

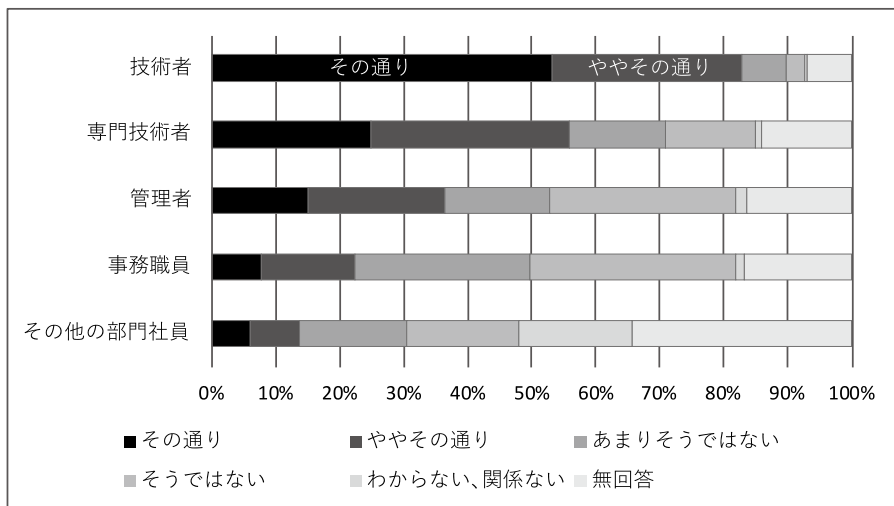


グラフ3 人材層別の不足感状況（フォークリフト系）

回答数が全体の約30%である『フォークリフト系』においても『建機系』と同様の傾向ですが、ただ比率としては技術者への不足感が約70%、専門技術者が約35%と

『建機系』での回答よりは若干低くなっています。

次は『その他の機種系』です。



グラフ4 人材層別の不足感状況（その他の機種系）

全体回答の約20%弱を占める『その他の機種系』（「コンクリート打設用機械」、「締

固め用機械」、「高所作業車」で構成）も同様の傾向ですが『建機系』、『フォークリフ

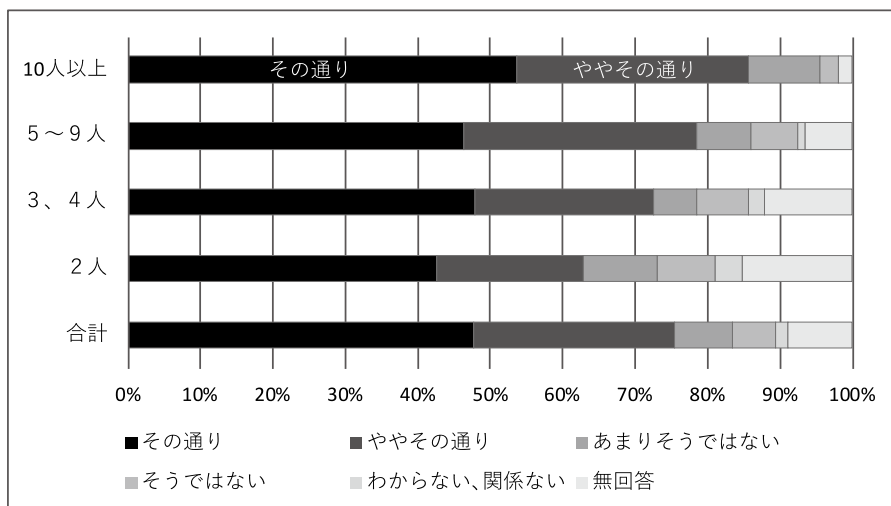
ト系』に比べ、技術者では「その通り」の回答だけで50%を超え、「ややその通り」を合わせた回答では80%を超えています。

専門技術者でも「その通り」と「ややその通り」を合わせた回答は55%強と「建機系」、「フォークリフト系」に比べて高く、技術、サービス系社員の不足感が強く出ています。

『その他の機種系』は特殊仕様などを含めた機種の種類が多いにも関わらず、検査

対象台数は『建機系』、『フォークリフト系』ほど多くないこともあって、専門的な知識、経験の蓄積が進みにくく、技術者の育成や人材の確保がより難しいと推測されます。

次は各機種系で同一の傾向を強く示した技術者について、全回答を事業（人員）の規模別にみてみます。



グラフ5 技術者の不足感状況（人員規模別）

グラフ5でわかるとおり、事業（人員）規模が大きくなるにつれ、その不足感は大きくなり、10人以上では「その通り」の回答だけで50%を超え、「ややその通り」を合わせた回答は85%を超えています。

事業の規模に応じて必要な人数も増えるため、規模の大きい事業所でも人材の確保

がなかなか難しいことがうかがえます。

今回はこの人材の不足に対してどのような対応をしている（考えている）のかについて紹介していきます。今回（第2次）の調査では回答企業の中から、一部の会員検査業者へ人材確保などについてのインタビューも行いましたので、その回答も交えて紹介します。

広報

特自検Q&A

第6回

建設荷役車両安全技術協会 本部

皆様から建荷協にお寄せいただいた「特定自主検査業務に関わる質問」の中より、重要なもの、繰り返しいただいたもの等をQ&Aの形で紹介しています。

より適正な検査の実施および信頼される特自検管理業務の参考にしていただければ幸いです。

1. 長期リース・レンタル機の特定自主検査について

Q 1：業務の拡大に伴い新たに5台のフォークリフトをリースする予定です。運転は当社の作業員が行いますが、リース機の所有権はリース会社にあります。

この場合の労働安全衛生法に基づく定期自主検査の実施義務者は当社になるのでしょうか？

A 1：労働安全衛生法第45条は、使用している機械による労働災害の防止を目的としています。機械を運転して荷役作業を行っている労働者が貴社に所属していることから、その労働者を雇用している貴社の責任において定期自主検査を実施することとなります。

また、定期自主検査には、1年を超えない期間ごとに1回、定期に行う特定自主検査（年次）と1月を超えない期間ごとに1回、定期に行う定期自主検査（月次）とがありますが、年次の特定自主検査については、労働安全衛

生法に規定された有資格者に行わせる必要があります。

事業場の労働者で一定の資格を有する者による「事業内検査」を実施するか、資格者がいない場合には、厚生労働大臣または都道府県労働局長に登録された「検査業者」に依頼して検査を実施させなければなりません。

なお、最近は、年次及び月次の点検・検査がリース契約に含まれている場合やパッケージとして同時に別途契約される事例が多くあります。

リース・レンタルの契約をする際には、今回の特自検の実施日の確認とともに、検査・点検をどのように実施するかについて確認するようお願いします。

安衛法

（定期自主検査）

第45条 事業者はボイラーその他の機械等で、政令に定めるものについて、厚生労働省令で定めるところにより定期に自主検査を行ない、及びその結果を記録しておかなければならない。

2. 事業者は、前項の機械等で政令で定めるものについて同項の規定による自主検査のうち厚生労働省令で定める自主検査（以下「特定自主検査」という。）を行うときは、その使用する労働者で厚生労働省令で定める資格を有するもの又は第54条の3第1項に規定する登録を受け、他人の求めに応じて当該機械等について特定自主検査を行うもの（以下「検査業者」という。）に実施させなければならない。
3. 以下省略

また、記録表の検査者名については、実施責任者または、代表者が検査項目の漏れがないように各検査者と記録内容を確認し、署名をすることで足りませんが、連名とすることについて妨げるものではありません。

なお、これらの取り扱いについては、作業指示書等で「誰が」「どこを検査し記録するか」を明確にしておくことをお勧めします。

註：回答中の枠囲みは

法令 指針 その他

を示します。

2. 複数人で特自検を実施した場合について

Q 2：1 台の機械を複数人の検査者で特自検をする場合、どのような注意点がありますか。

またその場合には、記録表への検査者名の署名は、どうしたらよいでしょうか？



A 2：対象機械の特自検の有資格者であれば、複数人で検査をしても、問題ありません。

ただし、複数人で検査をする場合には、思わぬ事故や、検査項目の見落としをすることがありますので、事前に実施責任者を決めておき、責任者の指示に従って安全で確実な検査を進めてください。

3. エンジン式フォークリフトの油圧装置・安全装置他、最終までのチェックポイントについて

Q 3：この度、特自検検査業の統括責任者となりました。

検査記録表のチェックを行う際のポイントやよく見られる不適切な記載例などを教えていただけると幸いです。

A 3：今回は、「エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表」のエンジン編から始まり 4 回目となる油圧装置・安全装置・車体関係等・総合・排ガス装置・事業者への要請等及び補修措置・次回特定自主検査実施年月日（図 1）の最終までのチェックポイントについて説明いたします。

エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

証明書
発行日 年 月 日 様式SR-LE-01-H建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用証明書
発行No. 標章
No.

メーカー名		管理No.		使用者住所 氏名又は名称		
型式		走行距離 km		機械管理者氏名		
製造番号		稼働時間 h		検査業者登録番号		
性能 (最大荷重) kg		車検 有効期間		検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名		
検査実施場所		検査年月日 年 月 日		検査者氏名		
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
油 圧 装 置	1	本体	a ★始動性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動	目視、操作、聴診	
	43			アクセル作動、回転具合、ブレーキの回転（ ）		
	44	作動油タンク、フィルター	タンクの油漏れ・油量・汚れ、*フィルターの汚れ・目詰まり・損傷	目視、触診		
	45	配管（ホース類、高圧パイプ）	き裂、損傷、老化、ぬじれ、油漏れ、取付	目視、触診、レンチ等、探傷器		
	46	油圧ポンプ、油圧モーター ①	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
	47	シリンダー	作動、油漏れ、打こん、き裂、曲がり、擦り傷、 取付	リフト用 ティルト用 アタッチメント用	目視、操作、レンチ等	
	48	自然降下量、自然前傾量 ②	降下量（ mm/分 ） 前傾量（ mm/分 ）	スケール、タイマー		
	49	制御弁（コントロールバルブ） ③	作動、油漏れ、取付 リリーフ圧（リフト MPa・ティルト MPa）	目視、操作、レンチ等 油圧計		
	50	電磁弁	作動、異音、異常発熱、油漏れ	目視、操作、聴診、触診		
	51					
安全装置・車体関係等	52	車枠、車体	き裂、変形、取付	目視、レンチ等		
	53	キャブ	き裂、変形、腐食、雨漏り、ドアの開閉状態、ロック、がた、破損	目視、触診		
	54	座席（調整機構、シート、シートベルト）	作動、損傷、取付	目視、操作、レンチ等		
	55	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視、レンチ等		
	56	表示板	損傷、取付	目視、触診		
	57	ヘッドガード、バックレスト	き裂、変形、損傷、取付	目視、レンチ等		
	58	灯火装置、方向指示器、計器類	作動、破損、水浸入、取付	目視、操作、レンチ等		
	59	警報装置、後写鏡、反射鏡	音量、音質、汚れ、損傷、写影、取付	目視、操作、聴診、触診		
	60	給油脂 ④	給油脂状態、自動給油脂装置の作動	目視、操作		
	61	離席時走行・荷役インターロック	スイッチの作動	目視、操作		
62						
総合	63	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
排気装置	64	★一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、 排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、操作、レンチ等		
別紙 様式SR-ZC-03等に事業者への要請等及び補修措置を記載		次回特定自主検査実施年月 年 月				
1. 検査の結果、異常のないもの		⑤		⑥		
2. 検査結果が異常なものについて		⑤		⑥		

図 1 エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表
油圧装置・安全装置他部

① 油圧ポンプ、油圧モーター：

機械の仕様と記録内容が一致しているか
を見る必要があります。

エンジン車で制御弁（コントロールバルブ）が2連（リフト、ティルト）及び3連以上で回転機能を有する装置等や特殊なアタッチメントを除くフォークリフトでは、「油圧モーター」はありませんので、検査項目の「油圧モーター」を「一」で消すよ

うに推奨していますが、消されていない記録表が見られます。

② 自然降下量、自然前傾量：

各メーカーにより規定測定時間及び基準値が定められていますので、基準値表等で確認して、良否判定を行っているか確認してください。

③ 制御弁（コントロールバルブ）：

メーカーの指定する箇所に、油圧計をセットし、正しく測定しているか確認してください。

自動給油脂装置はありませんので、検査内容「自動給油脂装置」を「一」で消しますが、消されていない記録表が見られます。

④ 給油脂：

①と同様に、大型や特殊な機種以外は、

⑤ 別紙 様式SR-ZC-03等に事業者への

要請等及び補修措置を記載：図2参照

様式SR-ZC-03-A

事業者への要請等及び補修措置		証明書 発行日	年 月 日	定期自主 検査No.
3 年 間 保 存	定期(特定)自主検査記録表	証明書 発行No.		特自検 標章No.

事業者への要請等	この部分は、機械の安全を確保する上で特に重要ですので、適切な記載となっているか下記を中心にしっかりと確認してください。		
	検査結果で「不良」に「✓」されている場合で「補修内容」に記載がないものについては、事業者への要請事項が確実に記載されているか？（危険等が明確に記入され、補修を勧奨しているか。）		
	【例】 照合No.39 フォークの根元部が摩耗限度に近づいています。（測定値34mm 限度厚さ32mm）使用状況によっては、次回年次検査時に摩耗限度を超えることもありますので、月次検査時にも、測定していただき限度厚さになるようでしたら、早めに交換してください。		
	補修等 の 措 置 内 容		
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容
	「補修内容」に記載がある検査箇所の全項目が記入されているか？		事業者に内容を適切に伝わる文章になっているか？
		補修年月日の年が検査日の和暦または西暦に統一されているか？	

図2 事業者への要請等及び補修措置
定期（特定）自主検査記録表

⑥ 次回特定自主検査実施年月：

この項目が無記入の点検表があります。
次年度の特定自主検査の実施時期をしっかりと事業者へ伝え、検査するようお願いし

てください。

検査時期については、248号(2020-7月号)49頁の「特自検Q&A」1項を参照してください。

本誌では、特自検に関わるご質問をお待ちしております。
質問が採用された方には、薄謝を進呈致します。
質問は以下の方法でお寄せ下さい。

- ・アンケート用紙をご利用ください
- ・下記E-mailまで直接メールして頂いても結構です。

E-mail : koho@sac1.or.jp

イラスト災害事例

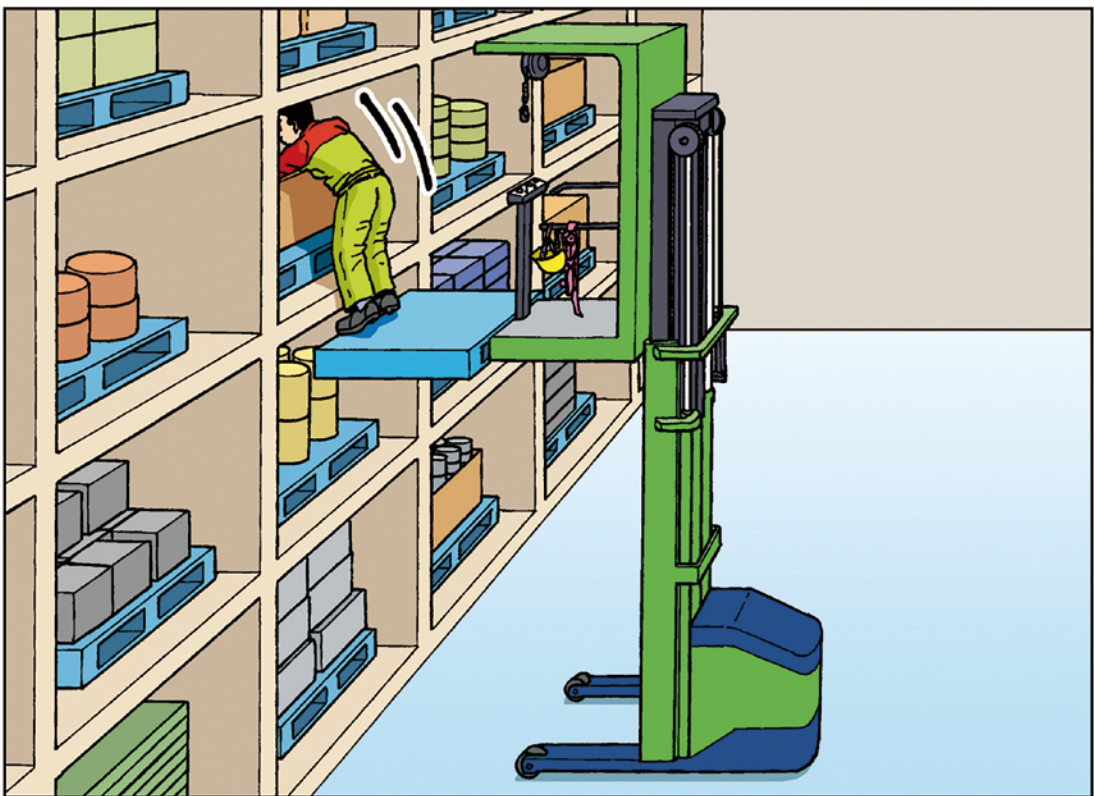
車両系荷役運搬機械および車両系建設機械・高所作業車（特自検対象機械）の労働災害事例について、災害発生前と発生後をイラストにして説明しています。職場の皆様でご覧になり、安全作業、危険予知活動等にご活用ください。

1. 車両系荷役運搬機械の災害事例

【分類】 起 因 物：フォークリフト 事故の型：墜落、転落

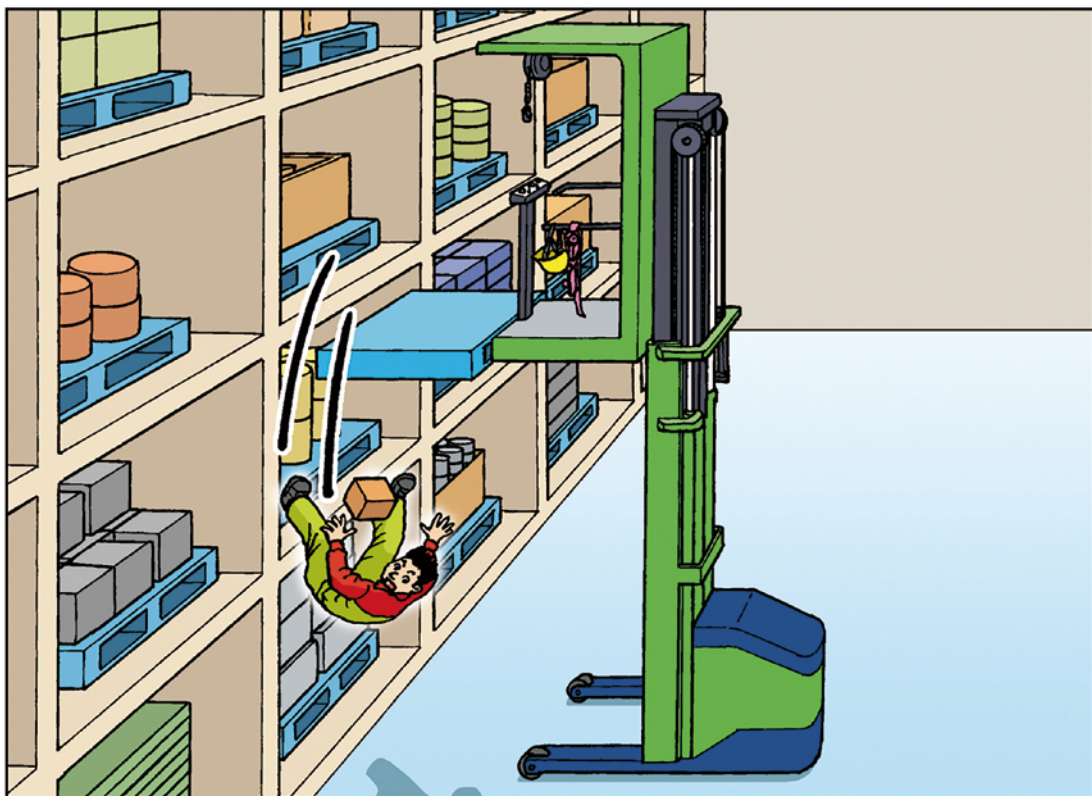
1-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…（この状況で予知される災害は？）

倉庫内の荷を移動させるため、オーダーピッキングトラック（運転者が荷台に乗り昇降して荷役作業できるフォークリフト）に乗り、高さ2.43mのパレット上で荷役作業をしていました。



1-2 どうすれば防げるでしょうか…（こんな災害が発生しました）

荷役作業中、バランスを崩して、パレット上から床面まで墜落しました。



【災害発生防止のポイント】

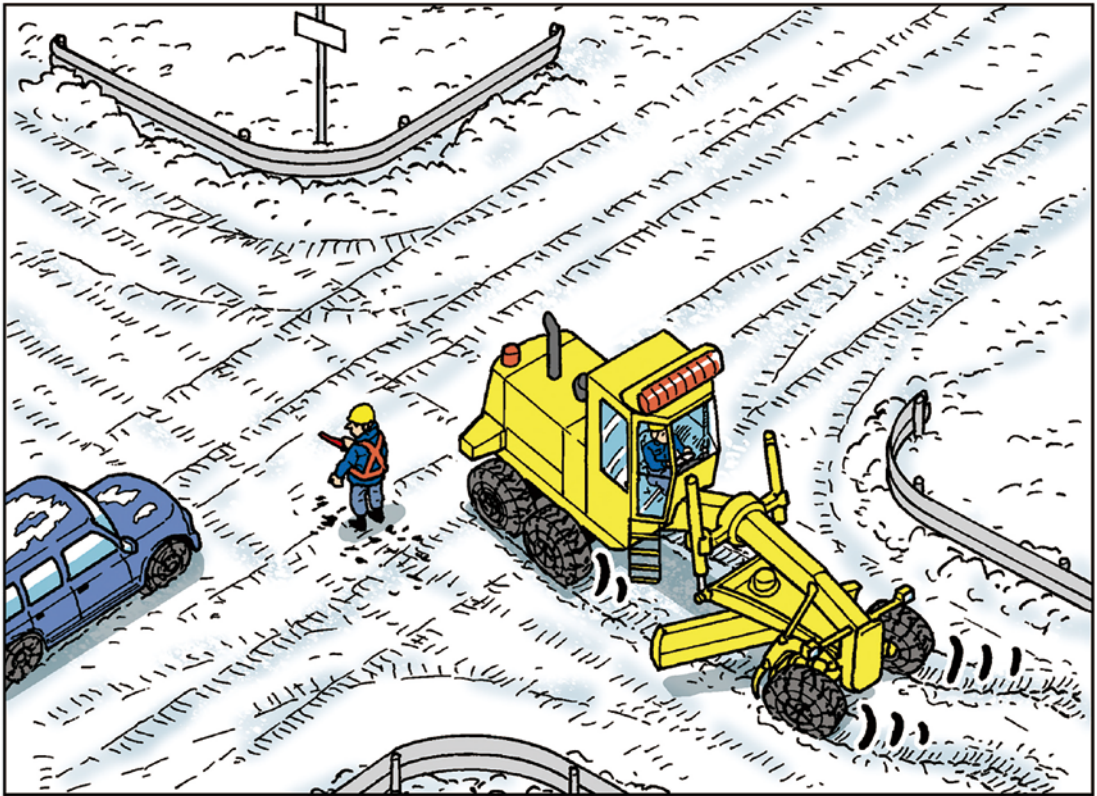
- 車体をラックに対し横向きにして、運転台の手すり（安全ガード）内で荷物の荷役作業を行うこと（パレット上や棚上に移り移らないこと）。
- 運転台の手すり（安全ガード）は確実に下ろし、加えて墜落制止用器具（安全帯）も着用すること。また、保護帽を着用すること。
- やむを得ずパレット上で作業する場合は、オーダーピッキングトラックの転倒のおそれがない場合で、パレット等の周囲に十分な高さの手すり若しくはわく等を設け、かつ、パレット等をフォークに固定するか、または墜落制止用器具（安全帯）を使用すること。

2. 車両系建設機械等の災害事例

【分類】 起 因 物：整地・運搬・積込み機械 事故の型：その他

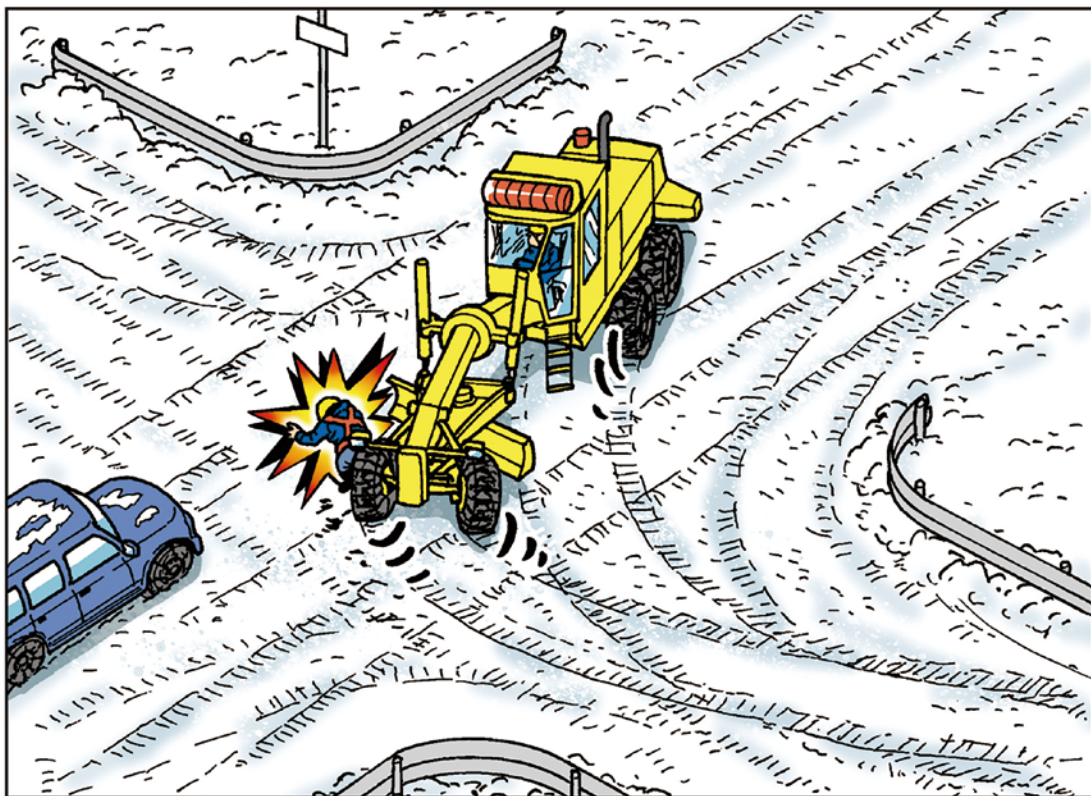
2-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…（この状況で予知される災害は？）

排雪作業現場で、一般車両の交通誘導を交差点の道路上で行っていた誘導者の後方から、後進してきたモーター・グレーダーが左折しようとしていました。



2-2 どうすれば防げるでしょうか…（こんな災害が発生しました）

後進のまま左折したところ、外輪差のために右側前輪で誘導者が轢かれました。



【災害発生防止のポイント】

- 外輪差を認識して運転すること。前・後進とも速度を十分に落とし、誘導者が回避したことを確認してから右左折する。
- 外輪差の大きい車両が交差点を曲がる場合は、車両側にも誘導員を付ける（とくに後進の場合）。
- 車両にバック警報装置を取り付けることも効果的。

技術解説

トヨタ GENEО (1.0~8.0tエンジンフォークリフト)、 ショベルローダー (0.7~1.5t) の商品改良について

柿元 貴志*

1. はじめに

トヨタ GENEОは発売以来、主力機種として、国内エンジンフォークリフトシェアNo.1を継続し、直近4年連続で同シェア50%を超える支持をいただいております(※)。一方で、社会的な安全意識の高まり、人手不足やそれに伴う労働力の多様化を受けて、物流業界においても事故の未然防止、多様な労働者が働きやすい環境確保、作業効率向上に

対するニーズがさらに高まっております。

このような状況を踏まえ、安全性を確保しながら、操作性、メンテナンス性等を向上させた商品改良を行いました。今回、商品改良した中からメンテナンス性に関する内容を中心にご紹介します。(2020年8月生産車より対応)

※2020年9月30日時点 当社調べ

2. 対象車種

表1 商品改良対象車種一覧

機種名		代表型式
GENEO	1.0~J3.5t	02-8FG10-J35/02-8FD15-J35(小特車含む) 42-8FDL10-18(Type K)
	3.5~8.0t	02-8FG35-50/8FD35-80
ショベルローダー		02-6SD/G7-15(小特車含む)



写真1 : GENEО (1.0-J3.5t)



写真2 : GENEО (3.5-8.0t)



写真3 : ショベルローダー

3. 主な変更点について

今回の主な変更は下記 4 点になります。

- ・ 4 Yエンジン改良
- ・ マルチファンクションディスプレイ II
- ・ LEDフロント/リヤコンビネーションランプ
- ・ クイックオペレーター認証装置（オプション）

1) 4 Yエンジン改良

a. 点火システムDLI化

点火システムにDLI※ 1を採用したことで、メンテナンス性を向上させました。

また、デイストリビュータと別置きイグナイタを廃止、イグニッションコイルとクランク角センサを追加してエンジンコントローラにて点火時期を制御しています。

※ 1 DLI : Distributer Less Ignition

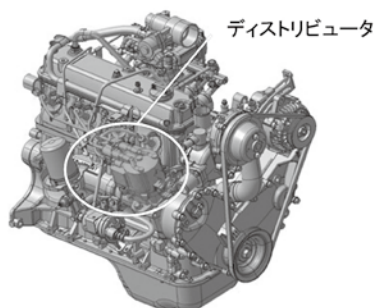


図 1 : 4Yエンジン（旧）

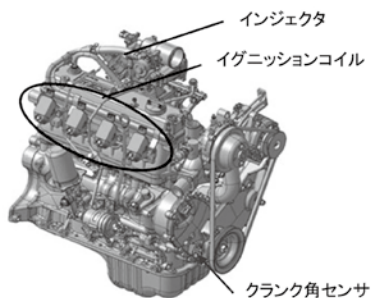


図 2 : 4Yエンジン（新）

b. LPGシステムの変更

従来車では、使用するLPG燃料のプロパンとブタン比率の違いや、季節による気温変化によって、LPGレギュレータスロー流量調整（MAS※ 2）や、燃料内に含まれる成分由来の生成物付着にてスロー流量が低下した際にスロー回路の清掃が必要でした。

新型車の 4 YエンジンLPGシステムでは、インジェクタ大型化（14→60L/min）により、始動～アイドル回転時に燃料供給の約90%を担っていたスロー回路を廃止し、メンテナンス性を向上しています。

※ 2 MAS : Mixture Adjust Screw

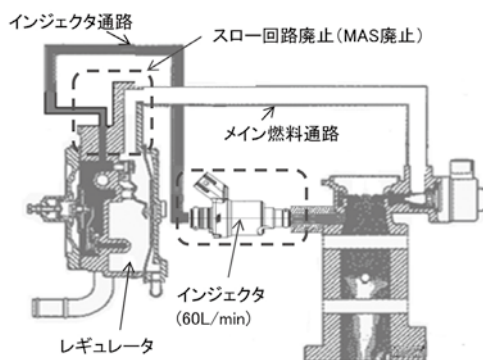


図 3 : 4Yエンジン LPGシステム（新）

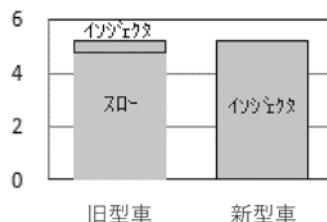


図 4 : アイドル燃料流量（L/min）
（当社所定の条件による測定結果）

2) マルチファンクションディスプレイⅡ (標準設定)

現行コンビネーションメータとオプション設定していたマルチファンクションディスプレイを一体化し、情報が確認しやすく、操作性を向上したマルチファンクションディスプレイⅡを標準設定しました。

車速や燃料系などの車両情報を表示/通知する機能と、オペレータ（および管理者）の操作により車両性能を設定する機能および、サービススタッフのお客様車両の状況把握やサービス機能についても標準搭載しています。



写真4：インパネ(新)



写真5：マルチファンクションディスプレイⅡ

a. 稼働データログ機能

- ディスプレイ内メモリに車両の稼働・燃費情報を蓄積し、画面にデータ表示。
- 稼働情報はQRコードでデータの外部取り出しが可能。
- 1か月毎にデータを記録し、燃費情報は最長3か月分、その他情報は最長1年間分記録ができます。
- 燃費情報は最大30日分の日別データを記録します。



図5：稼働データログ機能の情報流れについて

表2 稼働データログ項目

機能	データ分類	表示項目
一般機能	燃費情報 *1	1時間あたりの燃料消費量(L/h) CO2排出量(kg)
管理者機能 *2	管理者向けデータログ	稼働日数 キーオン時間(h) アイドル時間(h)
サービス機能	サービス向けデータログ	冷却水温(℃)、一定値超え積算時間(h) トルコン油温度(℃)、一定値超え積算時間(h) 作動油温度(℃)、一定値超え積算時間(h)*3

*1：1DZエンジン搭載車を除く。LPG併用車は、ガソリン使用時の値を表示。3.5-8.0t車は1KDエンジン搭載車のみ

*2：管理者機能で表示するデータはサービス機能でも確認することができます

*3：作動油温計（オプション）付車のみ

b. 簡易荷重計&荷重アラーム

- ・簡易的に積載荷重をお知らせする簡易荷重計を標準搭載しました。(※)
- ・リフトレバーを操作状態から停止し、設定値を超える荷を積載している場合、荷重表示を点滅表示します。

また、荷重アラームインジケータを表示し、マスターウォーニングインジケータを点灯するとともにブザーを鳴らしてオペレータにお知らせします。(荷重アラームは0.1t単位で0.2から9.99tまで設定可能)

※) 本機能は、作業上の目安として簡易的に積載荷重を表示するものです。

その他のいかなる目的(商取引、証明を含む)においても、本機能で測定した結果を正式な積載荷重として利用しないでください。

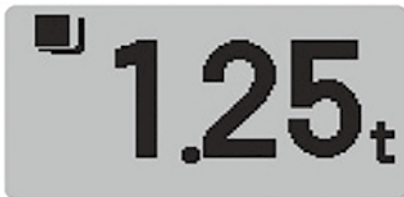


図 6 : 簡易荷重計



図 7 : 荷重アラーム作動時

c. 作動油温計 (オプション)

- ・リターン配管に設置された温度センサにて作動油温を5段階で表示します。
- ・作動油温度の確認が容易になること

で、過負荷状態での作業抑制につなげることができ、油圧機器のトラブルの低減が期待できます。

- ・作動油がオーバーヒート(レベル5)した1か月間の総積算時間を表示します。
- ・データについては、稼働データログ機能で外部に取り出すことが可能です。

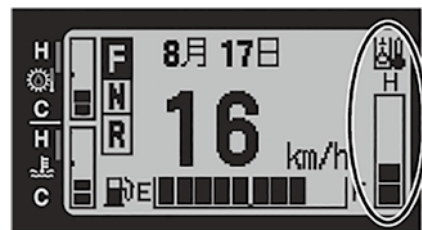


図 8 : 作動油温度表示 (オプション)

3) LEDフロント/リヤコンビネーションランプ

a. LEDフロントコンビネーションランプ

新たにヘッドランプとコンビネーションランプ一体型のLEDフロントコンビランプを標準設定しました。(大特/小特車含む) 垂直・水平方向ともに広い照射範囲を持ち、荷役操作時、走行時、暗い場所等でも視認性を確保しています。

LEDによる長寿命化と、従来のヘッドランプと比較して消費電力を低減しています。

b. LEDリアコンビネーションランプ

従来のリアコンビランプと比較して長寿命化を実現しています。

- ・小特車、大特車検の場合、リヤピラー付きになります



写真 6 : LEDフロントコンビネーションランプ

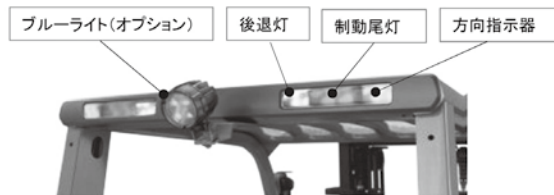


写真 7 : LEDリヤコンビネーションランプ(標準仕様)

4) クイックオペレーター認証装置（オプション）

登録された認証カードをタッチしたオペレーターのみエンジンを始動することができる装置です。

- ・ 認証カードは100枚分登録可能です。
- ・ 下記の対応カードから1つのタイプの

み選択して利用できます。

<対応カード規格>ISO1443 Type A、FeliCa、ISO15693(周波数：13.56MHz)

- ・ 携帯電話、スマートフォンには対応していません。
- ・ カード登録には専用のカードライターが必要となります。

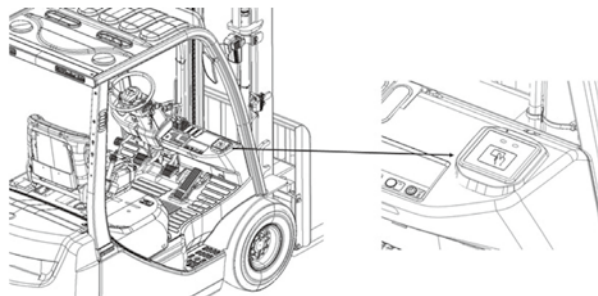


図 9 : クイックオペレーター認証装置（オプション）

4. まとめ

今回、メンテナンス性を中心とする商品改良を行うことで、以前から要望のありました電動車との機能統一を行い、稼働情報をもとにランニングコストやサービス工数

低減についても寄与できる商品としています。

今後もより多くの方にご愛顧いただける製品を提供することで、物流業界の皆様に貢献したいと考えます。



愛媛に思う

運営幹事会 幹事 吉川 修司

コベルコ建機株式会社 マーケティング事業本部
ショベル営業本部 カスタマーサポート部 部長

1月初旬、2度目の緊急事態宣言が発令され自粛が求められコロナとの戦いも新たな局面に入りました。ここではあえて小生の故郷を紹介し、少しでも皆様に明るい気分になってもらうこととしましょう。

今思えば、出身地（愛媛）を出てから引越し続きでした。大学（愛知県）→就職（神戸→広島→加古川→広島→北米→広島→明石→東京）、全体の2/3は広島で生活し第二の故郷を確保しつつ各地で貴重な経験をさせて頂くことができました。特に印象的だったのが今現在に続く東京勤務です。

昨年4月の着任と同時に緊急事態宣言が出され部下の顔を見る間もなく在宅勤務に突入、建設荷役車両安全技術協会各位にお会いするチャンスもなく（ご無礼、誠に申し訳ありません）、不要不急の外出自粛の中で恐々と生活必需品を買出し、冷凍食品に長らくお世話になり、家飲みが増え、、、

感染が比較的収まった一瞬の間に伊豆や富士吉田、日光、仙台などなどGo Toを利用しつつ車移動で密を避け、それなりに息抜きもしました。社内でもコミュニケーションに限界を感じ下期あたりから出張を再開したものの12月から自粛、年末年始は一人で関東の黒い汁の年越しそばを頂くなど感染予防や自粛しつつ新たな経験もできましたがコロナがなければ更に良かった筈。

小生の両親は共に80前後、実家は愛媛県新居浜市ですが当然の如く盆も正月も帰省

せずWebでの会話のみ。孫を含め会えない寂しさを感じつつ耐えるしかありません。

新居浜には毎年10月16～18日で「太鼓祭り」があり毎年帰省し活力を頂いていました。もちろん今年は中止、残念です。



新居浜市HPより（転載許可済）

<https://www.city.niihama.lg.jp/kanko/03/matsuri.html>

新居浜太鼓台の流れは京都の山車が流れてきたといわれています。京都から神戸、淡路を経て四国に渡り、だんだんと各地でアレンジされ最後に新居浜に辿り着き、時代とともに巨大化され現在の姿になっています。高さ5.5m、長さ12m、重さ3tを100～150人（かき夫）が持上げ「かきくらべ」をする男祭り、この3日間（多くは後

半2日間)は市内ほぼ全ての学校や会社が休みになり、かき夫に変身する方も少なくありません。

現在は54台の太鼓台が各地区に所属しており、ちょっと昔は地区間の争いごとで喧嘩が絶えず太鼓台をぶつけに行ったり、観客を巻き込んだ死傷者が出たり、今では警察官が太鼓台に同行する不思議な光景も当たり前に。ある意味、危険な祭りです。四国では阿波踊り、よさこい祭りと合わせて三大祭りとされていますが知名度は低いでしょうね。

そして新居浜には東洋のマチュピチュ「東平(とうなる)」があります。



(一社)新居浜市観光協会HPより(転載許可済)
<http://niihama.info/machu-picchu/>

ここは別子銅山(※)で採掘された鉱石を貯鉱庫に降ろしたり、選鉱したり、また学校・娯楽場・接待館等があった場所です。昭和5年まで採鉱本部が置かれ、発電所は昭和43年まで稼働していた産業遺産になります。

※:別子銅山:国内最大級の銅山、1690年~1873年(昭和48年)までに約70万tの銅を産出

四国といえば瀬戸大橋(岡山:小島~香川県:坂出)が有名ですが、建設中は自動車とともに新幹線を通す計画もチラホラ言

われていましたが結局は電車(マリンライナー)に格下げされ現在に至ります。これに対抗したのか?下の様なホビートレインが走っているとか?見たことは、ありませんが。



四国旅客鉄道(株)(JR四国)提供

しかし2017年7月にオール四国で新幹線誘致を推進する新組織として「四国新幹線整備促進期成会」が発足し、その検討が進んでいると聞きます。ともなれば四国にも行きやすい環境となり観光にも産業にも期待するところです。

今回は新居浜を中心に紹介しましたが四国は四万十川や四国カルスト・瓶ヶ森などの大自然、銭形砂絵や下灘駅・吾橋雲海展望台などの映える景色、道後や桂浜・タオル美術館などの文化、いろいろ楽しめます。

コロナ禍で自粛が続きますが、落ち着いたら是非四国を訪れてください。昔は「海外」と皮肉を言われてきましたが自粛後には日本の海外を楽しんではいかがでしょう。都会の混雑を忘れ、異質なときの流れを感じられることでしょう。

小生も帰省ついでに四国の旅をしたくなりました。コロナよ、早く去れ!

安全・技術講座

第67回

我が社のセールスポイント

茨城県支部
日立建機日本株式会社 関東支社 茨城支店

群馬県支部
東毛重機株式会社

「我が社のセールスポイント」は、会員同士が切磋琢磨する情報を提供する場として、通年表彰の「企業賞」の受賞会社に「安全管理」、「整備・検査」、「法令遵守」、「技術開発・考案」、「環境」などについて記載していただき、労働災害防止活動や技術開発・改良・考案等に対する意欲向上を図る場を提供することを目的としています。

250号から令和2年度に表彰された企業をシリーズで紹介していますが、今回は茨城県支部・日立建機日本(株)関東支社 茨城支店さんと群馬県支部・東毛重機(株)さんの2社に執筆をお願いいたしました。

I 茨城県支部 日立建機日本(株) 関東支社 茨城支店

1. はじめに

日立建機株式会社は、1950年に機械式ショベルU06の生産を開始し、2020年で建設機械の本格生産・販売を始めて70周年を迎えました。



70周年ポスター

当社は2012年に日立建機株式会社の日本事業部と日本国内のレンタル事業を担っていた日立建機レック株式会社が統合し、日立建機日本株式会社として現在まで事業運営を行っています。

2. 会社概要

(1) 日立建機日本株式会社概要

会社名：日立建機日本株式会社

設立：2012年（平成24年）4月1日

代表者：代表取締役 榎本 一雄

所在地：埼玉県草加市弁天五丁目33番25号

資本金：50億円

売上高：1,974億円（2020年3月期）

決算月：3月

事業内容：建設機械、運搬機械、農業用機械およびこれらに関連する機械器具並びに部品の賃貸借・リース、販売、修理、アフターサービス 等

従業員数：3,058名（2020年4月1日）

拠点数：246拠点

（支社：8ヶ所、支店28ヶ所含む）



日立建機日本の支社配置

(2) 茨城支店の概要

支店名：日立建機日本株式会社 関東支社

茨城支店

所在地：茨城県那珂市向山1269-1

従業員：78名（2020年10月現在）

検査者：41名（同上）

3. 協会事業への参加

当社は、日立建機レック株式会社で登録していた厚生労働大臣認可を継承し、現在に至っています。建荷協本部・支部への参画や特定自主検査取得研修の講師派遣などの協会発展に努めています。

登録年月日：2001年（平成13年）6月26日

登録検査事務所：153拠点

（2020年10月1日）

4. 安全管理の取り組み

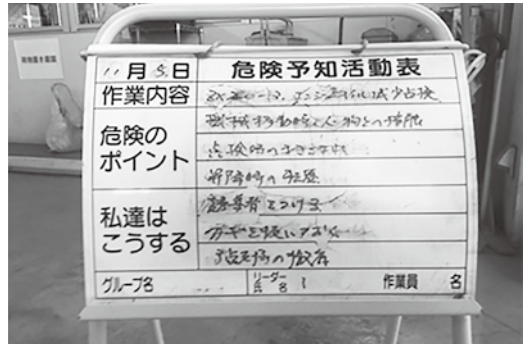
(1) 日立建機グループ安全衛生基本理念

日立建機グループの基本理念は「安全と健康を守ることを全てに優先させる」です。日立建機日本では、労働災害を未然に防ぐために「安全への気付きの強化」

を推進し、さまざまな安全衛生文化の醸成に取り組んでいます。

(2) 茨城支店における安全への取り組み

茨城支店の取り組みとしては、毎朝のラジオ体操後に安全朝礼を行い、本日の作業安全のポイントをKYボードを用いて全員が共有し日頃の安全啓発に努めています。



危険予知活動表

また、支店長をはじめ所員全員による確認呼称の唱和や対面での指差呼称により身だしなみや個々の健康状態を相互チェックし、さらにリスクアセスメントにより危険源を摘み取り、無災害職場の達成に取り組んでいます。



対面での指差呼称

5. コンプライアンス遵守への取り組み

日立建機日本は、日立創業の精神である「和」、「誠」、「開拓者精神」という価値を堅

持っています。日立建機日本は、2010年に制定された、日立建機グループで共通に適用される「日立建機グループ行動規範」に沿った経営トップのリーダーシップのもと、「基本と正道」に則った企業倫理と法令遵守に根ざした事業活動を展開しています。

また、企業活動には持続可能な社会の実現、人権や働き方、各種の危機管理などに関して、SDGsをはじめとする時代の要請を常に取り込む必要があるとの考えから、「日立建機グループ行動規範」を2018年6月に改定しました。

日立建機日本は、これを理解・遵守し、高い倫理観を持って、誠実で公正に行動し、全社員がコンプライアンスの遵守に取り組んでいます。

6. 技術開発・考案

日立建機日本ではデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を進めるため業務改革を2020度より本格的に推進しています。その一環として、日立建機日本が独自に開発した営業・サービス員向けのタブレット端末専用アプリ「ConSite® Navi」を活用し全国で活用を開始しています。

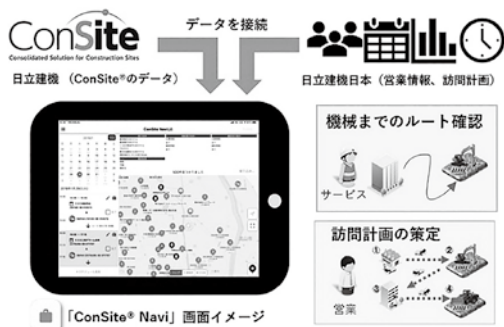
これまで個別に「ConSite®」*の管理していた機械情報と、日立建機日本の営業・サービス員の訪問履歴、修理履歴、担当者個人の訪問スケジュールなどの情報をリアルタイムに同期して地図上で表示することで、効率よくスピーディーにお客さまをサポート、訪問することが可能になりました。

「ConSite® Navi」の活用で営業・サービス員個人の経験を問わず、効率よくお客さまの現場への訪問とアプローチを行い、コミュニケーションを図ることができるようになりました。これにより、2019年度の日

本国内における稼働機械のメンテナンスの実施台数や、これに伴う部品・サービスの受注額が、前年度に比べてそれぞれ約1.2倍に増加しました。

* IoTを活用し、建設機械の稼働・位置情報などのビッグデータを蓄積するGlobal e-Service®（グローバルイーサービス）のデータに基づく。

また、機械の点検では、「ConSite® Shot」を活用して、質の高い点検報告書が簡単に作る事ができるようになりました。



「ConSite® Navi」活用状況

7. 環境への配慮

当社は、地球環境の保全と持続可能な社会の実現を進めていくために「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」を重要な3本の柱とする環境ビジョンを定め、「みんなで守ろう未来のために

青い地球を次世代に」をスローガンとして活動しています。

8. 社員の技術力向上・教育

(1) 日立建機グループの全体の取り組み

日立建機グループでは、毎年全世界のサービス員の技術を競い合い、サービスサポート力の向上を目的とする「Service Technician Competition」を開催しています。日立建機日本では入社5年目の社員が一度だけ参加できる登竜門として位置づけ、各拠点の予選会を経た代表者が、技術・知識の総合力を培い全国大会に挑んでいます。

2020年はコロナ禍で残念ながら中止となりましたが、この大会に参加できるよう、日立建機日本のサービス員は技術・知識力の向上に、日々努めています。

この活動が、お客さまにとって最も安心・信頼できるパートナーになれる活動であると強く確信しています。

(2) 茨城支店の取り組み

若手サービス員の育成として故障診断スキルアップのため、動画共有による指導を展開しています。

目線カメラ装着し、実際に機械の故障診断を実施している様子を撮影しながら共有することで、動画診断の進め方をインストラクターより指導を行い、経験浅いサービス員の実践教育を行っています。



サービス員への実践教育

9. おわりに

私たち日立建機日本株式会社は「VISION (私たちの思い) まっ先に選ばれる、ずっとつき合える」「MISSION (私たちの使命) は、提案力と人間力で、現場を支える。」「SLOGAN (私たちの約束) は、頼りにできる人がいる日立建機日本」「VALUE (私たちの提供価値) は、人としての「正直さ」と「誠実さ」を真ん中に、日本一お客様思い、現場思いの建機総合サービス会社になる。」「CULTURE (私たちの行動基準) は、ほめる、ほめられる。チャレンジできる。多様性を認め、活かす。」をキーワードに、日本一、お客様思い、現場思いのできる会社として、全社員で活動を進めて行く所存です。



VALUE私たちの提供価値

[支店長 黒木 幹雄]

Ⅱ 群馬県支部 東毛重機(株)

1. はじめに

当社は、昭和55年群馬県邑楽郡大泉町に現取締役会長 對比地 一（ついひじ はじめ）によって建設機械の販売修理、レンタルを行う有限会社東毛重機サービスとして設立されました。「地域密着・顧客満足」を第一に考えお客様のあらゆるニーズにお応えできるよう努めてまいりました。

平成8年には東毛重機株式会社へ社名変更し、平成9年には現工場が完成したことで新たなスタート切ることができました。お客様に喜ばれるサービスを提供すべく、群馬県の東毛地区を中心に営業してまいりました。

平成19年からはコマツ建機販売株式会社（現：コマツカスタマサーサポート株式会社）様の販売協力店となり、より高いレベルのサービスを提供できるようになりました。

平成28年に現社長 對比地 紀仁へ交代した後も、設立当初の「地域密着・顧客満足」を経営理念に掲げ、さらなるレベルアップを図っております。

昨年は新型コロナウイルスが蔓延し、社会情勢もめまぐるしく変化した年になりました。日々変化する社会情勢やお客様のニーズに応えるべく社員一同安全、技術、コンプライアンスを柱に日々精進しております。



現・本社工場

2. 会社概要

(1) 概要

会社名：東毛重機株式会社

設 立：昭和55月 4 月

代表者：代表取締役社長 對比地 紀仁

資本金：1,000万円

売上高：5 億円（令和 2 年度）

社員数：15名

営業拠点：群馬県邑楽郡大泉町

登録機種

- ① 整地・運搬・積込機械
(ブルドーザー・ホイールローダ・モーターグレーダ他)
- ② 堀削用機械（油圧ショベル）
- ③ 解体用機械（ブレーカ、鉄骨切断機、コンクリート圧碎機、解体用つかみ機等）
- ④ 締固め用機械（ローラ）
- ⑤ 基礎工事用機械
- ⑥ 不整地運搬車
- ⑦ フォークリフト

(2) 特定自主検査の実施

- ・特自検有資格者 7 名
- ・特自検実施台数302台（2020年）

当社では、検査、書類に不備がないよう都度チェックを行い、月に一度特定自主検査担当者による自主監査を行っております。



特定自主検査の様子

す。また、コマツグループによるクロス監査を定期的実施し、不備がない様チェック、指導を行っております。

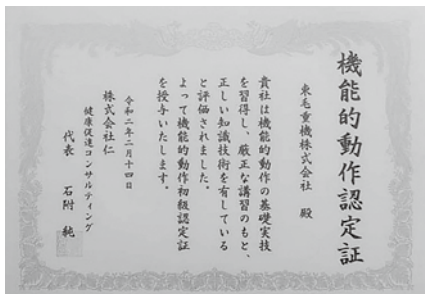
3. 安全管理

(1) 全社員によるサービス会議実施

当社では、「安全・健康第一」を経営理念として掲げており、安全に対する意識向上のため、全社員によるサービス会議を実施しております。各担当者が日頃気づいた危険を議題に挙げ、発生要因、対策について話し合い、時には現場で確認するなど、様々な安全対策に努めております。

(2) 健康管理

全社員の定期健康診断の受診、要再検査者への健康指導の実施をしております。その他に、社員の健康意識改革として当社と業務提携をしている「株式会社 仁 健康促進コンサルティング」の石附講師を招き、「健康意識×機能的動作認定セミナー」を実施しております。政府は、膨れ上がる医療費の適正化、労働生産性の向上などを目的に「健康経営」を推進しています。当社は、従業員一人ひとりが自分の健康状態を見直し、健康に対する意識を高めること及び業務における機能的動作を習得することでケガの予防に努めております。また、毎日の取り組みとして、朝礼時に全社員にてラジオ体操を実施しております。



機能的動作認定証



セミナーの様子

(3) ユーザリコメンド

顧客満足度向上のため、現場における安全指導・安全講習を実施しております。お客様とともに現場へ行き業務の効率化、安全への心得、テストを実施し、経営者の方たちが求めている安全、KY活動の重要性を再認識していただくことで、あんしん経営の一躍を担っております。



お客様への講習の様子

(4) KYに対する取り組み

① KYシートの活用

多種多様な建設荷役機械を取扱う当社では、様々な状況が発生します。そのため、朝礼時にはKYの確認を行い、さらに都度作業開始前に各自必ずKY活動を実施し、事故、ケガを起こさないよう努めています。

② 「安全環境ニュースレター」の活用

コマツグループにて共有される「安全環境ニュースレター」を全社員へ説

明し、安全・環境への意識を共有しています。

(5) 熱中症対策

群馬県の東部にある当社は、夏季には連日最高気温を観測する場所となっており、熱中症対策は社員の健康管理において重要なものとなっています。当社では、下記の対策を実施し、熱中症にならないよう最善の注意を払っております。

- ① 冷却ベスト、保冷材の配布
- ② ペットボトルの水、塩飴の配布
- ③ 経口補水液の配布
- ④ 専用冷凍庫完備

保冷剤、ペットボトルは冷凍庫に入れ毎日補充し、出張修理へ出る際は必ず持っていくよう指導しております。

(6) 新型コロナウイルス対策

昨今の新型コロナウイルス流行に対して、以下の感染対策を行っております。

- ① 事務所入室時の消毒の徹底
- ② 事務所内の換気、飛沫防止パネルの設置
- ③ iPadによる事務所外での書類作成
- ④ マスク・消毒液の配布
- ⑤ 接触確認アプリ「COCOA」活用
- ⑥ 「Zoom」による会議の導入



新型コロナウイルス対策

4. コンプライアンス

私たちは社会的信用のもと活動しております。企業としての責任を果たすため、コマツの販売協力店としてコンプライアンス遵守を基本とし、特定自主検査、分解整備作業を行っております。

5. 社員研修

当社では、社員の技術向上のため各種研修へ積極的に参加するように努めております。特定自主検査員の資格取得研修、能力向上教育等は計画的に受講し、その他にもコマツグループ他、銀行等外部の様々な研修を受講し、営業・サービス・事務それぞれの能力向上を図り、お客様に満足していただけるサービスを提供できるよう努めております。

また、コマツグループにて実施されているATC大会にも毎年参加し、技術のレベルアップを図っております。



ATC大会の様子

6. 環境への配慮

金属スクラップ、プラスチック、一般ごみ、ダンボール、廃油、廃バッテリー、廃クーラント、廃エレメント等、廃棄物の分別処分を実施し、各リサイクル業者に回収を委託し処分しています。また、オイルの

流出事故を防ぐため、オイルマット、有機生分解性粉末油吸着剤を常時在庫し、万が一の際にも万全を期しています。



分別処分の一例

7. SDGsへの取り組み

国連が定める持続可能な開発目標であるSDGsに賛同し、持続可能な社会の為の事業展開を行っております。

「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

建設機械に搭載している排ガス4次規制エンジンの普及に努めてまいります。

「8. 働きがいも経済成長も」

働きがいのある人間らしい仕事を推進する為、研修、福利厚生を充実します。

「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」

ICT建機による技術革新を支える為、ICT建機の普及、拡大に努めてまいります。

「11. 住み続けられるまちづくりを」

地域の包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする為、当社は積極的に地域に貢献していきます。

8. おわりに

今回、「企業賞」という名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思っております。

コロナ禍における社会情勢はとても厳しく、新しい生活様式の実践など、様々な変化が求められています。日々の変化に対応することはもちろん、基本である安全・技術・コンプライアンスの遵守、「地域密着・顧客満足」の経営理念を忘れず、今後も全社員一丸となって精進していきたいと思っております。

[代表取締役社長 對比地 紀仁]

製品紹介

製 品 名	大型油圧ショベル「PC1250-11R」	コマツ
発売年月	令和2年12月	

■概要

コマツは、最新技術を随所に織り込んだ大型油圧ショベル「PC1250-11R」を2020年12月より発売しました。

当該機は、自社開発の新型エンジンを搭載し、従来機（※1）の商品力や基本性能を継承しつつ、燃費改善や安全性向上、KOMTRAX PlusなどのICT機能強化を織り込み、更なる生産性・安全性の向上を実現した120トンクラスの油圧ショベルのモデルチェンジ機です。

新型エンジンの採用によるエンジン出力アップと合わせて、従来のパワー（P）モードとエコノミー（E）モードに加えて高負荷作業に適したパワープラス（P+）モードを新たな作業モードとして追加設定したことで生産性（作業量）を8%（※2）向上させています。また、エンジン燃費効率改善と油圧回路ロス低減、高効率クーリングの採用、オートアイドルストップの採用により、パワー（P）モード使用時においても燃費を6%（※2）改善しました。

また、砕石・鉱山の過酷な作業現場におけるオペレーターの安全で快適な作業のサポートとしてKomVision（機械周囲カメラシステム）を標準装備しているほか、油圧式昇降階段（オプション設定）を新たに装備しています。

※1. PC1250-8

※2. 当社従来機 P モード比

■主な特長

1. 環境性、経済性

- ・新作業モードによる作業量向上

従来のパワー（P）モードとエコノミー（E）モードに加え、新作業モードとしてパワープラス（P+）モードを追加設定し、生産量を8%（※3）向上させています。作業や目的に合わせて作業モードを設定することで経済性と生産性の向上をサポートします。

※3. 当社従来機（PC1250-8）P モード比

- ・燃費低減と高い作業性能を両立

新エンジン搭載による燃費改善のほか、作業負荷に応じた最適なパワー供給システムと低燃費油圧システムによるロス低減、高効率クーリング採用等により、パワー（P）モード使用時でも高い作業性能を維持しつつ、燃費効率を従来機に比べて6%改善させています（※4）。

※4. 当社従来機（PC1250-8）P モード比

2. 安全性

- ・KomVision（機械周囲カメラシステム）標準装備

機械の両側面と後方に設置した4台のカメラを使用して、モニター上に機械の周囲を表示することができます。簡単な操作で、カメラ画像の拡大や画像の切り換えのほか各カメラの全画面表示も可能です。

- ・各種LEDライト標準装備

■主な仕様

項 目	単 位	PC1250-11R			
		砕石仕様	土木仕様	SE仕様	L/S仕様
機械質量	kg	117,800	116,400	118,600	119,700
機体質量	kg	88,100			
エンジン定格出力 ネット（JIS D0006-1）※5	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	560/1,800 [761/1,800]			
標準バケット容量	m ³	5.2	5.0	6.7	6.5
標準バケット幅 （サイドカッター・シュラウド含む）	mm	2,110（※6）	2,220	2,340（※6）	2,730
全長	mm	16,070		14,840	10,990
全幅（作業時）	mm	5,570			
全高	mm	6,040		6,270	6,200
後端旋回半径	mm	4,920			

※5：冷却ファン最低回転速度時の値

※6：バケットのリップが最大幅

※ この欄では、会員企業から随時提供されるニュースリリースをもとに、数機種を選び掲載しています。

明るく長寿命なLEDライトを標準装備しています。従来オプション設定であったステップライトやホーン連動左前フラッシュライトを標準装備化したことに加え、キャブ後整備灯も新規設定し、低照度環境下での視界性を向上させることでオペレーターの安全な作業をサポートします。

- ・油圧式昇降階段（オプション）

上位機種に設定されている昇降角度45度の油圧式昇降階段を当該クラスにも新しく装備しました。オペレーターは安全かつ容易に車体にアクセスできます。また、ロックレバー自動ロック機能により、階段が格納されていない場合には走行および作業機は作動せず安全性を確保しています。

3. ICT

- ・KOMTRAX Plus

無線LAN機能による情報取得が可能になったほか、KOMTRAX Plusの機能を充実させることでより高頻度なデータがGPS位置情報とともに取得可能となり、より詳細な機械の移動状況を解析できるようになりました。お客さまの車両管理業務サポートを強化することで生産性向上に貢献します。

- ・高精細7インチ液晶ディスプレイ（LCD）モニター

視認性・画面解像度を向上させた7インチの大型高精細液晶ディスプレイ（LCD）マルチモニターを採用し、KomVisionの画像や省エネ運転をアシストするエコゲージ、燃費計、エコガイドスを見やすく、分かり易く表示することで、オペレーターの作業をサポートします。



大型油圧ショベル「PC1250-11R」
（写真は海外仕様およびオプション仕様を含む）

■問合せ先

コマツ コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

TEL：03-5561-2616

URL：https://home.komatsu/jp/

製 品 名	ブルドーザー「D71PX/PXi-24」	コマツ
発売年月	令和2年12月	

■概要

コマツは、最新技術を随所に織り込み、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(※1) 2014年基準に適合したブルドーザー「D71PX/PXi-24」を2020年12月より発売しました。

D71PX/PXi-24は、コマツのHST搭載(※2)ブルドーザーの中で最大クラスの新規開発機種であり、D65PX-18 PAT ブレード仕様(※3)を上位互換した機種です。無段階変速可能なHSTとアングル操作可能なPATブレード仕様で、抜群の押し回しと整地性を実現しています。また、HSTブルドーザーの特徴であるスーパースラントノーズデザインにより優れた前方視界性を達成しているほか、エンジン出力向上と新設計の大容量ブレードにより土工量を大幅に向上させています。

また、ICTブルドーザーであるD71PXi-24では新ICTシステムである「intelligent MACHINE CONTROL2.0」を搭載しています。従来機能に加え、積層盛土制御機能、クイック設計面作成機能、ブレードチルトによる直進補正機能の追加によりさらに容易な施工ができるようになったほか、マルチGNSSに対応したアンテナを2個採用することで、施工精度の信頼性を向上させるとともに、施工時間の短縮・効率化を実現し、作業効率の向上やオペレーターの疲労度の低減に貢献します。

- ※1. 通称、オフロード法という。
- ※2. 電子制御ハイドロスタティックトランスミッション
- ※3. パワーアングルパワーチルトドーザー仕様(盛土、整地など軽負荷メインの仕様)

■主な特長

1. 環境性・経済性

- ・余分な燃料消費を抑える省エネ機能
任意に設定したアイドリング時間(5~60分)で自動的にエンジンを停止できるオートアイドルストップ※4のほか、作業機・走行レバーを中立にすると、設定時間後にエンジン回転数が自動的にダウンするオートデセルを標準装備することで、余分な燃料消費を抑え省エネに貢献します。

- ※4 初期設定はOFFになっています。
- ・作業量優先と燃費優先を選べる2つの運転モード
パワフルで大きな作業量のPモードと燃料消費量の少ないEモードを、作業に応じてマルチモニターのスイッチ操作で簡単に選択できます。新搭載の自動Eモードでは、軽負荷作業時に自動的にEモードに切り換わることでマッキング回転数を下げ、燃料消費を抑えます。

2. 作業性・操作性

- ・優れた整地性能を発揮するHST(電子制御ハイドロスタティックトランスミッション)
電子制御により、車速はUP/DOWNスイッチで無段階に選択でき、全ての車速域でエンジンパワーを最大限に発揮します。左右の履帯を個別の油圧モーターで駆動するため滑らかな旋回が可能となり、整地作業、押し回し作業、微速接近作業、軟弱地作業などが容易に行えます。

- ・土工量の大幅向上
クラス最大級の出力を誇るSAA6D114E-6エンジンと新設計の大容量ブレードが、土工量を飛躍的に向上させているほか、油圧駆動ファンの採用によりエンジン出力のロスを低減するこ

とで高作業量を実現しています。

- ・作業の汎用性が広がるパワーアングルパワーチルトドーザー
アングル操作は汎用性に優れた油圧式を採用し、サイドからの土こぼれが少なく、簡単な操作で効率の良い土地造成が可能です。また輸送性に優れたおりたたみブレードを標準装備し、工具不要でブレードのおりたたみ作業が可能です。

- ・LEDライトを標準装備

省エネで長寿命のLEDライトをキャブ前方に4個、後方に2個標準装備しています。視認性に優れ、夜間の作業が安全・快適に行えます。

3. 新ICTシステム「intelligent MACHINE CONTROL2.0」

- ・積層盛土制御機能

土砂を一定の厚さで盛土できるようになりました。切り/盛り増減スイッチを押すと、設計図面と現況地形の間に最適な中間設計面が自動的に生成され、一定の厚さで敷き均すことができます。

- ・ブレードチルトによる直進補正機能

ブレードの偏荷重により車両の進行方向が変わった場合でも、ブレードチルトによる直進補正機能で自動的に修正されるので、オペレーターは車両の走行方向を修正する必要はありません。

- ・クイック設計面作成機能

オペレーターは、現場での作業に応じた適切な平面設計面が必要なタイミングに、シンプルな操作で容易に作成することができます。

- ・マルチGNSSに対応した2個アンテナ

マルチGNSSに対応したアンテナを2個採用することにより、施工精度の信頼性が向上しました。



ブルドーザー「D71PXi-24」

■問合せ先

コマツ コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6
TEL : 03-5561-2616
URL : <https://home.komatsu.jp/>

■主な仕様

項 目	単 位	D71PX-24 (3m折りたたみブレード)	D71PXi-24 (3m折りたたみブレード)
ブレード種類		パワーアングル パワーチルトドーザー	パワーアングル パワーチルトドーザー
機械質量	kg	23,000	23,500
エンジン定格出力 ネット(JIS D0006-1)※5	kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	177/2,100 [240/2,100]	177/2,100 [240/2,100]
ブレード高さ	mm	1,265	1,265
ブレード最大上昇量/下降量	mm	1,090/705	1,090/705
全長	mm	5,810	5,810
全幅(本体/ブレード)	mm	2,990/4,010	2,990/4,010
全高	mm	3,170 (キャブ上端まで)	3,330 (GNSSアンテナ上端まで)

※5: 冷却ファン最低回転速度時の値

※ 掲載は、定期又は特定自主検査の対象機種とそのアタッチメント、及び検査測定器に限ります。

製品名	小型次世代油圧ショベル 315 GC	キャタピラージャパン 合同会社
発売年月	令和2年12月	

■概要

キャタピラージャパン合同会社は、この度Cat 315 GC 油圧ショベルを2020年12月10日より発売を開始しました。

今回発売する315 GCは、旋回幅3.96mと優れた狭所作業性能を発揮し、スペースのない市街地などで活躍します。また、尿素水不要でオフロード法2014年基準に適合します。

昨年6月に発売した12～13トンクラスの次世代小型油圧ショベル 313GC、313、315にこの315 GCを加えることで小型油圧ショベルのラインナップが充実し、お客様の業種や現場に合わせて最適なマシンを選択することが可能となります。

■主な特長

- 0.5m³クラスの一般土木作業用に必要な掘る・積む・均すといった機能・性能に特化したシンプルな設計。ショベルクレーン仕様も用意し、現場での吊り作業が安全に行え、作業効率がアップします。
- エンジン定格出力や油圧馬力の向上と電子油圧制御による作業負荷に応じた最適制御により、生産性向上と燃費低減を両立。作業負荷に応じてエンジン回転数や油圧馬力を自動調整するスマートモード搭載により、燃料消費量15%低減*を実現しています。
- パワーモード、スマートモードが選択可能。作業に応じたスピードとパワーを選ぶことができます。モードの切り替えはキャブ内スイッチで行えるので、好みのモードを簡単に選ぶことができます。
- 尿素 SCRを使わずに最新の排出ガス規制に対応。現場の管理コスト削減にも寄与します。
- 作動油リターンフィルタの交換間隔拡大や、エアフィルタの寿命を2倍にするなど、電子化や部品の長寿

命化によりメンテナンスコストを最大25%削減*しています。

- 標準装備のROPS キャブ、ピラー形状変更などによる視認性を40%*改善。
- 315 GCは後方小旋回機に求められる寸法、作業範囲、作業性能を兼ね備え、さらに生産性と安全性を向上しています。

(*従来機312Fとの比較)

■主な仕様

		315 GC
運転質量	kg	13,200
バケット容量	m ³	0.52
エンジン名称		Cat C3.6 ディーゼルエンジン
総行程容積	ℓ	3.6
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	54.4/2,400
全長	mm	7,870
全幅（トラック全幅）	mm	2,490
全高	mm	2,960
後端旋回半径	mm	1,490



Cat® 315 GC 油圧ショベル

■問合せ先

キャタピラー

GCI マーケティング イノベーション

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目7-1

TEL 045-682-3553

※ 提供されたニュースリリースは、必ずしも全数掲載とは限りません。また掲載時期がずれることもあります。

製 品 名	新型ホイールローダ 3 機種	キャタピラージャパン 合同会社
発売年月	令和 2 年12月	

■概要

キャタピラージャパン合同会社は、Cat 910、914、920ホイールローダを2020年12月1日より発売しました。

今回発売のCat 910（バケット容量1.3m³、運転質量7,150kg）、914（バケット容量1.6m³、運転質量8,270kg）、920（バケット容量2.0m³、運転質量9,260kg）は、従来機910M、914M、918Mからのフルモデルチェンジ機で、オフロード法2014年基準に適合し、国土交通省低騒音型建設機械に指定されています。

■主な特長

1. 優れた作業効率を実現

(1) 新開発Cat C3.6ディーゼルエンジン

排気量3.6Lの新開発Cat C3.6ディーゼルエンジンを搭載。エンジンの小型化により、従来機比約7%の燃費低減を図りつつ、ターボチャージャのサイズ、エンジン制御プログラムの最適化により、定格出力をアップさせ、優れた作業効率を実現します。

(2) 電子制御キックアウト

バケット、リフトアームの可動域全域をカバーするロータリセンサによる電子制御キックアウトを採用。運転席から簡単にキックアウト位置を設定でき、バケットキックアウトは、ダンプ側からだけでなく、ラックバック側からも、リフトキックアウトは、リフトアーム上げだけでなく、下げもキックアウトが機能します。

(3) けん引力、走行応答性、作業機速度 3段階調整

運転席にあるキーパッドスイッチで、けん引力、走行応答性、作業機速度をそれぞれ3段階（60%、80%、100%）で調整可能。けん引力調整により、足場環境が悪い現場でタイヤの空転を抑制できます。走行応答性、作業機速度の調整により、現場、作業にあわせたオペレータ好みの設定が可能です。

(4) リバーシブルファン

クーリングファンを逆回転させ、冷却系統に付着した粉塵を吹き飛ばすリバーシブルファンをオプション設定。清掃間隔を大幅に延長し、粉塵の多い現場での稼働率アップに貢献します。

2. 快適な運転環境を提供

(1) シリンダクッション機能

バケットシリンダ、リフトシリンダのストロークエンド、キックアウト位置でクッション機能が働き、緩やかに作動を停止させるシリンダクッション機能を搭載。乗

り心地向上、荷こぼれ防止、シリンダ寿命延長に効果が発揮します。

(2) Bluetoothラジオ

Bluetooth接続に対応したラジオを搭載。スマートフォンのハンズフリー通話、オーディオデバイスの音楽再生ができ、快適な運転環境を提供します。

(3) USBポート

スマートフォンなどの各種デバイスの充電が可能なUSBポートを2つ装備しています。

3. 安全作業をサポート

(1) リアビューカメラ&モニタ

車両後端部にリアビューカメラを標準装備。運転席右上方に設置する専用モニタで、後方映像を確認でき安全な作業をサポートします。

(2) LEDライト

ブレーキランプ、後退灯、キャブ作業灯、前照灯*に、運転席からの視認性が高く、長寿命のLEDライトを採用。また、エンジンサービスドアの開／閉に連動して、点灯／消灯するエンジンルームLEDライトも搭載し、暗がりでも安全なサービス・メンテナンス作業を可能とします。※前照灯のLEDライトはオプション



Cat® 910 ホイール ローダ

■問合せ先

キャタピラ

小型製品販売促進部

〒220-0012 神奈川県横浜市区みなとみらい3丁目7-1

TEL 045-682-3438

■主な仕様

		910	914	920
運転質量	kg	7,150	8,270	9,260
標準バケット容量	m ³	1.3	1.6	2.0
全長（バケット付）	mm	6,235	6,345	6,690
全幅（バケット付）	mm	2,320	2,400	2,400
全高（キャブ上端まで）	mm	3,035	3,095	3,110
最高走行速度	km/h	34.0 (39.0*)	39.0	39.0
エンジン名称		Cat C3.6 ディーゼルエンジン		
エンジン総行程容積	ℓ	3.6		
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	73/2,200	73/2,200	88/2,200
ダンピングクリアランス	mm	2,850	2,820	2,805
ダンピングリーチ	mm	765	790	860

※オプションの高速・高けん引力仕様

※ 編集の都合により、ニュースリリース記載内容の一部を省略することがあります。掲載は無料です。

製品名	次世代ブルドーザ 3機種	キャタピラージャパン 合同会社
発売年月	令和2年12月	

■概要

キャタピラージャパン合同会社は、Cat D1、D2、D3ブルドーザを2020年12月1日より発売しました。

今回発売のCat D1（運転質量 乾地車：8,100kg、湿地車：8,545kg）、D2（運転質量 乾地車：8,340kg、湿地車：8,650kg）、D3（運転質量 乾地車：9,360kg、湿地車：9,895kg）は、従来機D3K2、D4K2、D5K2からのフルモデルチェンジ機で、車格はそのままにモデル名の変更も実施し、新発売されました。

■主な特長

1. 優れた作業効率を実現

(1) 新開発Cat C3.6ディーゼルエンジン

排気量3.6Lの新開発Cat C3.6ディーゼルエンジンを搭載。エンジンの小型化により、燃費低減を図りつつ、ターボチャージャのサイズ、エンジン制御プログラムの最適化により、従来機とほぼ同等の定格出力を維持し、優れた作業効率を実現します。

(2) ロードセンシング・エコモード

負荷に応じて、エンジン回転数を1,500～2,100min⁻¹で自動制御し、燃料消費量を標準モード比最大約20%低減します。また、騒音低減にも効果を発揮します。

(3) オートトラクションコントロール

作業中に発生する足回りの空転（シユースリップ）を抑制します。無駄な燃料消費を抑えるとともに、シユー摩耗の低減に効果を発揮します。

2. オペレータの負担を軽減するブレード制御技術

(1) Cat グレード スロープアシスト

設定した目標勾配を維持するようにオペレータのブレード操作を補助します。縦断勾配及び横断勾配の目標設定が可能で、作業中の目標勾配の変更も可能です。少ないブレード操作で、短時間で高精度の施工ができます。

(2) Cat グレード 3D

GNSS（Global Navigation Satellite System：全球測位衛星システム）アンテナと受信機をキャ

ブ上部に、専用モニタをダッシュボードに搭載。GNSSから得られる位置情報を基に、ブレードを3次元設計通りに自動でコントロールし、高効率で正確な3次元施工を実現します。

(3) ステイブルブレード

整地の仕上げ作業時などに、走行中のブレードの微細な上下動をジャイロセンサで検知し、ブレード操作を補正することにより、高い精度での整地作業を支援します。

3. 安全で快適な作業をサポート

(1) 大型タッチスクリーンモニタ

10インチの高解像度液晶モニタを搭載し、画面の視認性が大幅にアップ。タッチスクリーン操作により、各種設定や画面操作が直観的で、簡単に行えます。

(2) 優れた前方視界を確保

Cat C3.6エンジンの搭載と排ガス浄化装置のレイアウト見直しにより、従来機に比べエンジンフードの傾斜を大きくとり、優れた前方視界を確保しています。



Cat® D1 ブルドーザ

■問合せ先

キャタピラ

小型製品販売促進部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目7-1

TEL 045-682-3438

■主な仕様

		D1		D2		D3	
		乾地車	湿地車	乾地車	湿地車	乾地車	湿地車
運転質量	kg	8,100	8,545	8,340	8,650	9,360	9,895
全長(ブルドーザ装置付)	mm	4,275	4,260	4,280	4,270	4,335	4,310
全幅(ブルドーザ装置付)	mm	2,645	3,150	2,780	3,150	2,780	3,220
全高(キャブ上端まで)	mm	2,795	2,795	2,795	2,795	2,795	2,795
ブレード幅	mm	2,645	3,150	2,780	3,150	2,780	3,220
ブレード高さ	mm	910	860	1,010	910	1,075	1,010
エンジン名称	Cat C3.6ディーゼルエンジン						
総行程容積	L	3.6					
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	62.2/2,200		70.4/2,200		78.1/2,200	
接地長	mm	2,250		2,250		2,310	
接地圧	kPa	45	30	40	30	39	27

※ この欄では、会員企業から随時提供されるニュースリリースをもとに、数機種を選び掲載しています。

製 品 名	新型コンクリートポンプ車 「ピストンクリート® PY120B-26D」	極東開発工業株式会社
発売年月	令和2年11月	

■概要

極東開発工業株式会社はこのたび、26m級のブームを搭載し、機動性と圧送能力を大幅に向上させたピストン式コンクリートポンプ車「ピストンクリートPY120B-26D」を開発し、2020年11月24日より発売しました。

新機種は、従来機（※）に比べホイールベースを400mm短縮し5,000mmとしたシャシに、軽量化した26m級ブームと、最大出力が同約35%アップし、実用域での圧送能力を大幅に向上させたポンプユニットを搭載した、機動性に優れた大型ピストンクリートです。

都市部をはじめとした多様な現場に対応することが可能な、コンクリートポンプ車の国内トップメーカーである当社のノウハウを活かしたオールマイティな1台です。

（※従来機種：ピストンクリートPY115A-26C）

■主な特長

1. コンパクト設計による高い機動性

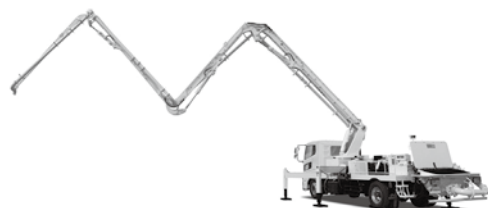
ホイールベースと車両全長を従来機（※）に比べそれぞれ400mm短縮し、ホイールベース5,000mm、車両全長9,460mmのコンパクト設計を実現しています。

都市部などの狭小かつスペースに制限のある現場にも対応が可能な、高い機動性を確保したオールマイティな車両です。（※従来機種：ピストンクリートPY115A-26C）

2. 軽量26m M 型 4 段屈折ブームを採用

ブーム・配管構造の変更で大幅な軽量化を実現した26m級ブームを採用しました。

手前から遠くまで最短経路でスムーズに移動でき、使いやすいM型4段屈折ブームです。

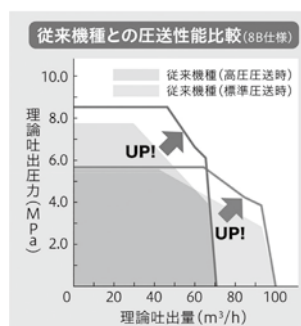


軽量26m M型 4段屈折ブーム

3. 実用域での圧送能力を大幅に向上させた高性能ポンプユニット

メインポンプの制御方式を電気制御とすることで、最大出力が従来機に比べ約35%アップし、実用域での圧送能力を大幅に向上させた高性能ポンプユニットを搭載しました。

エンジン出力を最大限に使用することで、緻密な制御が必要とされる小吐出量のCFT（Concrete Filled Steel Tube：コンクリート充填鋼管構造）圧送から、高負荷の圧送に対しても従来機より効率よく作業を行うことができ、多様な現場に幅広く対応します。



■問合せ先

極東開発工業株式会社

総務部 総務課

〒663-8545

兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

電話(0798)66-1000 FAX(0798)66-8156

URL: <http://www.kyokuto.com/>



ピストンクリート PY120B-26D

※ 掲載は、定期又は特定自主検査の対象機種とそのアタッチメント、及び検査測定器に限ります。

製 品 名	アップ&オーバー型電動高所作業車マックスリーチシリーズ 「WU09B1RN」	株式会社アイチコーポレーション
発売年月	令和 2 年11月	

■概要

株式会社アイチコーポレーションは、電動高所作業車「WU09B1RN」を2020年11月27日に発売しました。

■主な特長

1. 障害物越え作業が容易な、ふところの広いブーム作動範囲

障害物越しの様々な作業ポイントへのアプローチを容易にするため、先端にジブを備える伸縮ブームと起伏リンクを装備することにより広いふところを確保しています。

2. 狭い作業現場でも取り回しが容易なコンパクトボディ

通路幅が狭く、設備が密集した現場での作業を容易にするため、ブーム旋回時も車両後部が車幅内におさまるノーテール旋回となっています。

3. 安全で正確な操作に貢献する操作装置

走行操作、リンク操作、ブームの起伏と旋回の操作に作動速度を無段階に調整できる比例制御方式を採用しています。

スムーズな操作感で、オペレーターの安全で正確な操作に貢献いたします。

■主な仕様

型 式	WU09B1RN
作業床最大地上高	9.0m
最大作業半径	6.2m
作業床最大積載荷重	230Kg



マックスリーチ WU09B1RN

■問合せ先

株式会社アイチコーポレーション

営業企画部 企画統括課

〒362-8550

埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10

TEL：048-781-3330 / FAX：048-781-1110

※ ニュースリリース送付先：〒101-0051千代田区神田神保町3-7-1ニュー九段ビル9F
(公社)建設荷役車両安全技術協会広報部
または E-mail：koho@sacl.or.jp まで

製 品 名	大割用小型油圧圧砕機(3～5 ton大割機)「Vx35」	古河ロックドリル株式会社
発売年月	令和3年1月	

■概要

古河ロックドリル株式会社は、大割用小型油圧圧砕機『Vx35』を開発し、本年1月より販売を開始しました。

古河ロックドリルは、解体市場向けに、油圧ショベルのアタッチメント製品である油圧圧砕機『Vシリーズ』として、小割用油圧圧砕機『Vsシリーズ』、大割用油圧圧砕機『Vxシリーズ』、SRC解体大割用油圧圧砕機『Vzシリーズ』、多機能型鉄骨カッター『Vcシリーズ』の4タイプを市場投入してきました。

解体市場では、都市再開発やインフラ整備に伴う解体工事が増加する一方で、工期短縮が課題となっています。特に都市部を中心に、低騒音で作業できることなどからミニショベル搭載用小型油圧圧砕機の需要が増えており、同機を用いての作業効率のさらなる向上が求められています。

昨年9月に発売した大割用小型油圧圧砕機『Vx55』に引き続き1月より販売を開始した大割用小型油圧圧砕機『Vx35』は、3～5 tonクラスミニショベル搭載用であり、倒立型高出力油圧シリンダを採用、強力な圧砕力を発揮します。2本シリンダ仕様の特長を最大限に生かすピン配置により、狭い現場でのコンクリート構造物の解体をパワフル&スピーディに行います。

それにより油圧圧砕機の操作性の向上や作業効率のアップが見込め、工期短縮に寄与できるようになりました。また、3次元CAD解析を駆使した設計により、強度や耐久性の向上、耐摩耗による長寿命化を実現し、ユーザーメンテナンスコストの低減が可能になりました。

古河ロックドリルでは、今後もニーズが高まる解体市場向けに油圧圧砕機のラインナップの拡充に取り組んでまいります。

■主な特長

1. 破砕性の良いアーム

アームに中間歯を装備し懐長が長く深く入り込む為、効率良く作業を行えます。先端部は食い込みを重視しつつ、鉄筋等をつまみやすい形状とし、2本シリンダにより可能な開口幅400mmを確保した破砕性のよいアームです。センターピン調整機構により整備性にも優れています。

2. 強力なコンクリート破砕力

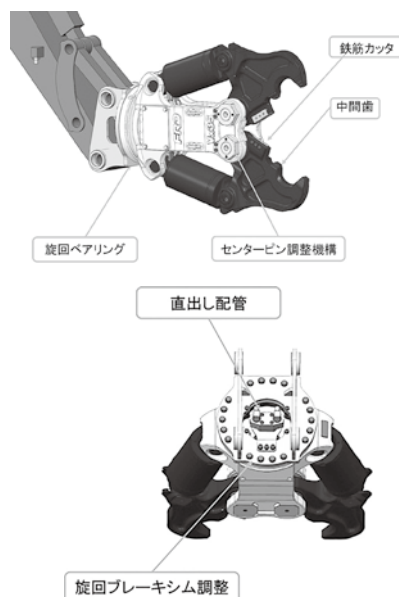
倒立型高出力油圧シリンダを採用、強力な圧砕力を発揮します。2本シリンダ仕様の特長を最大限に生かすピン配置により、コンクリート構造物の解体をパワフル&スピーディに行います。

3. 鉄筋カッター標準装備

アーム根元に鉄筋カッターを標準装備し鉄筋の切断・回収作業も迅速に行えます。カッター刃は4面使用でき経済的です。

4. 軽量で強靱なフレーム

実作業を想定した負荷条件のもと、3次元CAD解析により無駄を省いた極限フレーム形状を採用。高強度耐摩耗鋳鋼素材を採用した軽量かつ強靱なボディを実現しました。



■主な仕様

モデル名称		Vx35
質 量	kg	280
全 長	mm	1,126
全 幅	mm	760
最大開口幅	mm	400
カッター長	mm	90
先端破砕力	kN	242
使用圧力	MPa	25
適合油圧ショベル	ton	3～5
ハイスピードバルブ搭載		無
旋回方式		360°フリー旋回



大割用小型油圧圧砕機『Vx35』

■問合せ先

古河ロックドリル株式会社 営業企画部
TEL：03-3231-6961

※ 提供されたニュースリリースは、必ずしも全数掲載とは限りません。また掲載時期がずれることもあります。

Topics

令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて 第2回 銀賞受賞「フォーク交換治具」

考案者：静岡県支部 トヨタL&F静岡(株) 富士営業所
サービス課 大橋 進

前号より、令和元年度考案賞入賞作品中、金賞、銀賞受賞作品について、考案者の方に直接お話を伺い、考案に至った理由やご苦労等のよもやま話をシリーズで紹介しています。

第2回は銀賞を受賞された静岡県支部・トヨタL&F静岡(株) 富士営業所 大橋さんです。なお、受賞作品の詳細内容は、機関誌第248号（2020年7月号）21頁をご覧ください。

1. トヨタL&F静岡(株)および富士営業所の概要

2019年に創立55周年を迎えたトヨタL&F静岡(株)は、静岡県下10か所に広がる営業拠点を持ち、トヨタのフォークリフトなど各種産業車両や自動倉庫・無人搬送車といった物流システム機器の販売・サービス活動を行っています。

また、車両の販売・サービスだけではなく、お客様の多様なニーズに対し、物流アドバイザーとして、お客様の真のニーズを的確に把握し、お客様のお役に立てる最適な提案を提供し続けています。

富士営業所は、富士市に拠点を置き、富



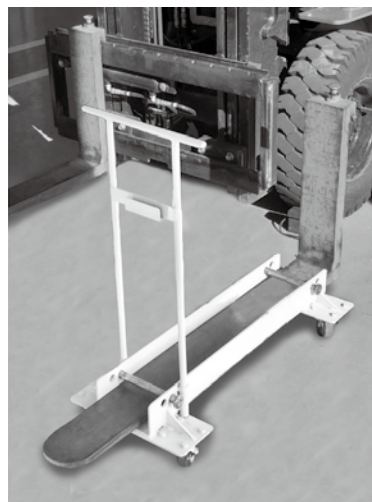
富士営業所全景

士市および富士宮市全域を営業範囲として、お客様に「安心、安全、信頼」を届けています。

2. 受賞作品

・「フォーク交換治具」

フォークリフト整備時、標準と異なるフォークに交換する作業（長フォークに付け替え等）において安全性と作業効率の向上を図った治具。



考案した「フォーク交換治具」

3. 考案者の横顔

今回は、考案者の大橋進さんと上職であるサービスマネージャー・愛甲正浩さんおよび本社総務部安全衛生推進課長・谷津辰義さんに取材をさせていただきました。

大橋さんは、サービス課担当課長で整備・検査業務はもちろん、若手の教育・指導や工場の改善推進を担う入社26年目のベテランです。2019年8月に沼津営業所から当営業所に配属となりました。

上職である愛甲さんは、総勢19名のサービス課の管理者で、大所高所から大橋さんを指導され、また谷津さんは、治具の評価、標準化や社内へ展開に尽力されました。



上職の愛甲さん（左）と考案者の大橋さん（右）

4. 考案に至った経緯

大橋さんは沼津工場勤務時代に、フォーク交換作業で自身もヒヤリハットを経験しました。

さらにフォーク交換作業中の挟まれ事故報告書を目にして、危険作業の認識を強められた大橋さんは、交換作業のリスクアセスメントも実施し、社内の改善システムを利用して、改善の取組みを本社に提案しました。

その後、当提案は全社の「重量物による挟まれ事故防止」の方針とも相まって、許諾されました。

フォークリフトのフォーク交換作業におい

て、通常長さのフォーク交換作業はリフトブラケットの中央切り欠き部にフォークを寄せて容易に交換できますが、切り欠き部より幅のあるフォークへ交換する（長フォークに付け替え等で標準と異なるフォーク）場合は、バックレストを外してリフトブラケットのサイドより、長フォークを挿入する作業になります。

このため、

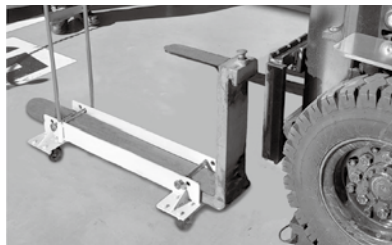
- ・長フォークの上下フックの位置合わせに時間がかかる。
- ・40～50kg（/1本、1.5tクラスフォークリフト）の長フォークを手で持ち上げ、位置決めする際、身体に負担がかかる。またそれゆえ、2人作業となることも多い。
- ・手指を挟む可能性がある。

等の解決すべき課題がありました。

また、長フォーク交換作業の頻度はそれほど多くないものの、逆に多くないために経験の浅い作業員は交換要領を忘れ、危険なこともありました。

5. 考案時に苦心した点および成果

改善を開始した大橋さんは工場の廃材を利用し、約1か月で試作品を製作しましたが、今回の改善で最も苦心した点、すなわち治具を「コンパクト」にしながら「安定性」を持たせるため、治具の寸法の再精査や強度の再検討を行い、最終形をその後約2か月で完成させました。



治具使用の作業状況
（治具をリフトブラケット側面に合わせる）



治具使用の作業状況
(治具スライド(フォーク挿入))

この治具により、交換作業中の挟まれ事故やヒヤリハットもなくなり、また治具の取扱いが大変簡単であるため、作業員の誰もが喜んで使用しているそうです。

また、長フォーク交換時間も、作業員2人で、現状10～15分(ノ2本)の時間を要していましたが、治具考案後は、約5分

(ノ2本)と半分以下の時間となりました。

現在では、この治具はトヨタL&F静岡(株)の全営業所に展開・活用され、治具を使用した作業手順書も作成・展開済みとのことでした。

6. 取材を終えて

取材を終えた大橋さんは、次はもっと効率を上げるため、「フォーク2本を同時に交換できる」ように検討していきたいと話されていました。

早速次のPDCAのサークルを考えているのは、さすが“トヨタ”さんですね。

今後大橋さんには、自身のさらなる改善活動はもちろん、若手社員へ改善の“キモ”を伝授し、営業所内の活動をさらに活発化させていただくことを願っております。

次年度の考案賞も期待しております！

[広報部：水島 記]

受賞者より	上職者より
トヨタL&F静岡株式会社 富士営業所 サービス課 担当課長 大橋 進 さん 考案賞銀賞に選んで頂き大変有難うございます。 このような名誉ある賞を受賞出来ました事は改善に取り組むスタッフの協力・指導の賜物と感じております。 日々作業に取り組む中で、常に危険は隣り合わせだと心得ているにも関わらず、労働災害が発生している現状を少しでも変えていけるよう、今後も改善に取り組む労災撲滅を図っていけるよう努力していきたいと思ひます。	トヨタL&F静岡株式会社 富士営業所 サービスマネージャー 愛甲 正浩 さん 考案賞銀賞受賞おめでとうございます。 日々作業改善活動及び安全対話を実施している結果だと思います。 今後もリーダーとして、安全な働き易い環境を目指し更なる活動を期待しています。

Topics

油圧ショベル エンジンファンベルト 交換作業安全性改善活動について

コマツカスタマーサポート(株) 九州沖縄カンパニー サービスセンタ
鹿児島地区サービスセンタ ゼロ災サークル TEAM3 ; Island

令和2年10月7日から北海道札幌市で開催予定であった中災防主催の第79回全国産業安全衛生大会in札幌は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため残念ながら、現地での開催は中止となりましたが、企業の研究・取組事例の発表等を収録した研究発表集に、当協会会員に関連した改善事例が掲載されていたので紹介します。

この事例は、コマツカスタマーサポート(株) 九州沖縄カンパニー サービスセンタ 鹿児島地区サービスセンタのゼロ災サークル活動で、労働災害防止のため、油圧ショベルのベルト交換作業の改善に取り組まれた事例です。

今回は発表集収録後の活動状況や成果等も新たに盛り込み、再構成した事例を掲載します。

1. はじめに

当社、コマツカスタマーサポート株式会社は、国内を7地域に分け、建設機械、フォークリフトの販売・レンタル・アフターサービスを行っております。そのひとつ、九州沖縄カンパニーは福岡県に本社を構え、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の8県41拠点にて業務を展開しています。

私達は基本理念として、ダントツの技術力、ダントツのソリューション、ダントツのアフターサービス力を保持することで「社員一人ひとりが誇りと喜びをもって『明日も会社に来たい、みんなと働きたい』と思える会社を目指します。その上で、私たち社員一同は『現場に則した最適の商品力』『ICTソリューション』『お客様の現場を止めない安全、且

つ的確なサービス力』『現場に最適な商品を提案出来る力』そして『将来の現場を変えるICTソリューション』をお客様に提供出来ることを最大の使命と考え、努力して参ります。

2. 会社概要

(1) コマツカスタマーサポートの概要

- 会社設立：平成30年4月
- 代表取締役社長 三浦 和明
- 資本金：9億5千万円
- 売上高：2,902億円（2019年3月期）
- 従業員数：4,532名

九州沖縄カンパニーの概要

- カンパニー社長 齋藤 和志
- 従業員数：605名

- 営業拠点：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 41拠点体制

鹿児島支店の概要

- 従業員：48名
- 営業拠点：4 拠点（鹿児島市、霧島市、屋久島）



図 1. 九州沖縄カンパニー本社（福岡市）

3. テーマ選定

サービス業務では長期間現場で稼働している機械に対して巡回点検を実施しています。巡回点検の目的は、定期的なメンテナンスによる正常稼働の継続、長期稼働に伴う部品の損傷を事前に確認し部品手配を行うことによる不稼働期間の短縮が目的となっています。

鹿児島支店における巡回点検の年間台数は約90台となっており、その中で20t 油圧ショベルが36%、12t 油圧ショベルが23%を占めています。

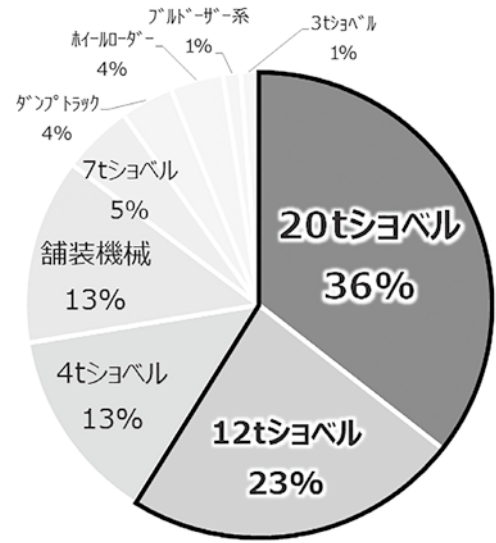


図 2. 巡回点検実績台数
(2017年度鹿児島支店実績)

巡回点検作業の項目を洗い出し、点検台数の多い20t 油圧ショベルで3段階評価シートに基づきマクロ評価を行った結果、災害事例も多く発生しているベルト交換作業の改善に取り組むこととしました。

評価		作業内容	ENG オイル 交換	7t ハ ベルト 交換	12 クリ ナー 清掃	4t ク リ ナー 清掃	ク リ ナー 清掃
ク リ ン グ	軽量	(0~12kg)	1	1	1	1	4
	中軽量	(13~19kg)	2	2			2
	中重量	(20~50kg)	3				0
	重量	(51kg~)	3				0
作 業 全 般	打撃		1				0
	12t ク リ ナー		1			1	2
	締め・緩め		1	1	1		2
	部品取付		1	1		1	2
	調整		1				1
	手運搬	(19kg以下)	2	2			2
	積降		2	2			2
	不整地		1	1	1	1	4
環 境 全 般	狭所		1		1		1
	低姿勢		2		1		1
	中所	(2m未満)	2			2	2
	高所	(2m以上)	3	3	3		9
	高温箇所	(15℃以上)	3	3	3		6
	回転部周辺		3		3		3
災 害 速 報	不作業災害		1		1	1	2
	休業災害		2		2		2
	重大災害		3		3		3
標 準 書	ジョブマニュアル		2		2	2	4
	作業標準書		3				0
合計			16	22	9	7	

表 1. 3 段階評価シート

4. 現状把握

まず、ベルト交換作業時の危険個所の洗い出しを行いました。作業姿勢が前かがみで作業時間が長く、エンジン稼働時には高温部への接触を防ぐために片手で工具を保持します。保持が緩んだ場合、ファン、プーリに指先を挟まれる危険が上げられました。



図3. 危険個所の洗い出し

(1) リスク評価の実施と目標設定

ベルト交換作業におけるリスク評価を実施し対策の目標を設定しました。

- ① ファン・プーリでの接触・挟まれによるケガの発生に対して作業手順の見直し。
- ② 安全帯を着用し前かがみでの作業から立ち上がった時にふらつき高所から落下する危険に対する作業姿勢の変更。
- ③ 作業時間の低減。

3つの目標で改善を行うことにしました。

危険種別		[点]	
① 挟まれ・巻き込め	⑨ 切れ・擦れ・打撲	ケガの程度 (A)	死亡・後遺障害 10
② 高所からの転落	⑩ 転落	重症・休業災害 7	
③ 飛来・落下	⑪ 急性毒性	不休業災害 5	
④ 激突	⑫ 腐食性・刺激性	軽度の微小災害 2	
⑤ 感電	⑬ 発がん性	ケガ発生の可能性 (B)	確実である 6
⑥ 高温物との接触	⑭ 臓器・全身毒性	可能性が高い 4	
⑦ 爆発	⑮ 吸引性・有毒性	可能性がある 2	
⑧ 火災	⑯ その他	少ない 1	
		危険に近づく頻度 (C)	頻繁 4
			時々 3
			少ない 2
			極少ない 1

表2. 危険種別 / リスクの見積り基準

No.	ファンベルト交換作業における危険・有害状態の洗い出し	危険種別	現状・対策後	ケガの程度 (A)	ケガ発生の可能性 (B)	危険に近づく頻度 (C)	合計ポイント	リスクレベル	改善の優先順位
1	工具の片手保持の為、滑り外れた時にファン等に接触する。	① ③ ⑨	現状 対策後	5	2	2	9	Ⅱ	①
2	前傾姿勢が長く、立ち上がった際に眩んで車両から転落する。	② ⑩	現状 対策後	7	2	2	11	Ⅲ	②
3	ベルト切断時、エンジン高温の為、触れてしまい火傷を負う。	⑥	現状 対策後	7	4	2	13	Ⅲ	③

表3. リスク評価シート (目標設定)

(2) 作業手順の確認

20t 油圧ショベルはファンベルトの取付け位置が複雑になっており、ベルトの図4丸箇所をテンシヨナが左側に押し出すことにより張り調整を自動で行っています。図に示すA位置からB位置へテンシヨナを動かすことにより、ベルトが緩みベルト交換が可能になります。

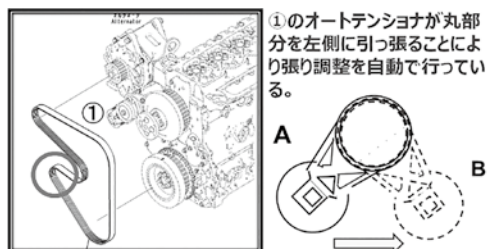


図4. ファンベルト交換方法

ベルトの交換は、テンショナを固定し作業する必要があります。これまでは市販工具のフレックスハンドルやジョイント工具などを使用し、片手での固定、ベルト装着を行っていましたが、工具が滑った場合プーリが体に接触する危険があります。そこでテンショナの固定方法を検討することになりました。

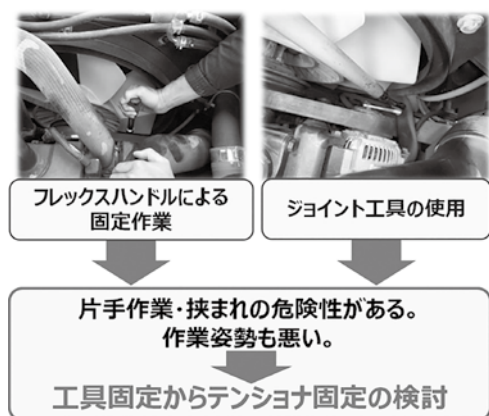


図 5. 作業方法と問題点

5. 改善立案

(1) テンショナ固定治具の検討

まず、テンショナの動きを確認しました。テンショナにはストッパが装着されており、赤矢印方向へテンショナを動かすことにより約33mmのすきまができます。

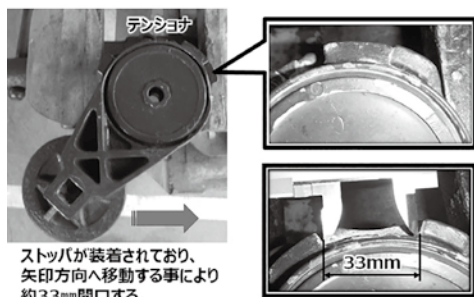


図 6. テンショナの動き

本体にはストッパが装着されているので鉄板を挟み込むことで固定できるのでは、と考えました。そこでテンショナくぼみ部 A 部と B 部に嵌め込み、外れ防止機能を備えた治具を考案し試作品を製作しました。

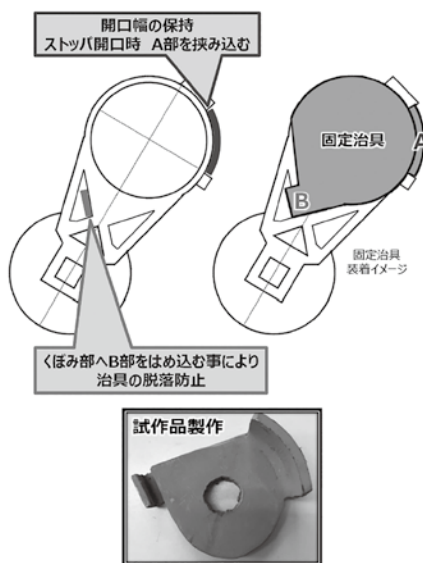


図 7. 固定治具の考案と試作品製作

製作した治具で両手作業が可能になり、作業時間を平均 7 分短縮することが出来ました。またテンショナを固定することでケガの発生リスクを減らすことができました。



図 8. テンショナ固定治具の検証

(2) 対策の確認

治具使用での作業手順の見直しでリスク 2⇒1、治具使用したことにより作業時間短縮が可能になり、作業時間リスクも 3⇒2 へ下げることができましたが、作業姿勢の改善と作業時の火傷のリスクは高いままになっています。

No.	ファンベルト交換作業における危険・有害状態の洗い出し	危険種別	現状・対策後	ケガの程度 (A)	可能性 (B)	ケガ発生 (C)	危険に近づく (D)	合計ポイント	リスクレベル	改善の優先順位
1	工具の片手保持の為、滑り外れた時にファン等に接触する。	① ③ ⑨	現状 対策後	5 2	2 1	2 2	9 5	II I	①	
2	前傾姿勢が長く、立ち上がった際に眩んで車両から転落する。	② ⑩	現状 対策後	7 5	2 1	2 1	11 7	III II	②	
3	ベルト切断時、エンジン高温の為、触れてしまい火傷を負う。	⑥	現状 対策後	7 7	4 4	2 2	13 13	III III	③	

作業手順の改善 リスクII⇒Iへ低減
治具使用で両手作業・作業時間 リスクIII⇒IIへ低減

↓

作業姿勢と交換作業時の火傷リスクが高いままとなっている。

表 4. 対策後のリスク評価

6. 再リスク評価の実施

(1) 作業姿勢の改善

作業姿勢を変更することは出来ませんが、治具を使用することで作業時間を短縮でき、かつ治具の脱落・破損がなければケガをするリスクも低減できると考え、治具の強度を確認することにしました。

テンショナの固定には、約49ニュートンメートルの力が必要ですが、治具の材料の強度と溶接棒の強度確認し問題ないと判断しました。よってリスクレベルを 2⇒1 へ下げることが出来ました。

テンショナ固定治具の安全検証

A-B 方向へ移動させることでベルトのテンションを緩めることができる。
約74°移動させると最大開口となる
最大開口を保持するのに、
5Kgf・m≒49N・mの力が必要となる



【治具構成素材】

・9mmの鋼材とLB-52溶接棒・L型アングル5mm厚

・溶接棒 LB-52概要

降伏強度 52kg/mm²以上 ⇒問題無し

・Lアングル厚さ5mm (鋼材) SS400

降伏点 245N/mm² ⇒25kg/mm² ⇒問題無し

【テンショナ素材】

アルミニウム合金と仮定

Al合金は降伏応力に相当する応力を耐力と定義している
0.2%耐力値 (N/mm²)

耐力 40～305N・mと耐力値が幅広い

図 9. 治具の安全性検証

(2) ベルト切断時のリスク評価

最後に火傷のリスクが残っています。切断時の交換作業は、火傷のリスクが非常に高いですが、切断時はお客様が使用している状況のため、現場を止めてしまうことになってしまいます。またエンジンが高温のケースもあり、作業に時間が掛かり、熱中症に近い症状になる可能性もあります。

エンジン高温時の問題をヒヤリングしたところ、ベルトを掛けることが難しいとの意見がありました。通常時は、テンショナがベルトに接触しているため工具での引きしろに余裕がありますが、切断時は、テンショナが全開のため工具の引きしろが不十分でベルト取付けに時間が掛かることが判りました。そこでテンショナ固定の保持角度の少ない物を追加工作成することにしました。

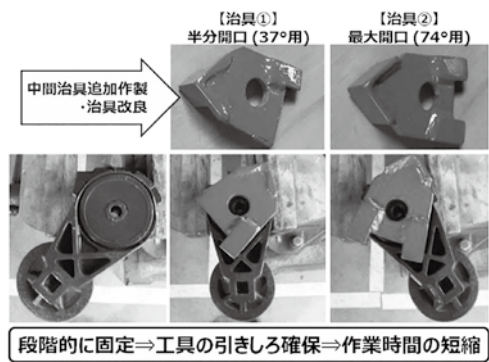


図10. 治具改良の検証

製作した治具にて段階的にテンショナを固定することができるため、工具の引きしろが確保でき作業時間を短縮することができました。

7. まとめと今後の課題

(1) 作業の標準化と水平展開

〔作業時間の短縮〕、〔作業姿勢の改善〕、〔作業性の向上〕を行えたことでリスクレベルをすべて1に下げることが出来ましたので、製作した治具を使用した作業標準書を作成しました。

また、20t 油圧ショベル以外で使用できないか検討したところ、12t 油圧ショベルでも同様なテンショナを搭載してお

り、テンショナの動きを確認したところ、固定方向が逆ではあるが、使用可能として、他機種への水平展開を行いました。

				(A)	(B)	(C)				
No.	ファンベルト交換作業における危険・有害状態の洗い出し	危険 種別	現状・ 対策後	ケガの 程度 (A)	ケガ 発生 の 可 能 性 (B)	類 度 (C)	危険 に 近 づく 類 度 (C)	合 計 ポ イン ト	リ ス ク レ ベ ル	改 善 の 優 先 順 位
1	① ③ ⑨	① ③ ⑨	現状	5	2	2	9	Ⅱ	①	
			対策後	2	1	2	5	I		
2	② ⑩	② ⑩	現状	7	2	2	11	Ⅲ	②	
			対策後	2	2	2	6	I		
3	⑥	⑥	現状	7	4	2	13	Ⅲ	③	
			対策後	2	2	2	6	I		
前傾姿勢での 作業時間の改善 OK				治具による固定での 作業性の向上 OK				リスクレベルⅢ⇒Ⅰへ改善		
治具の強度・ 安全性の確認 OK				治具改善・改修による 作業時間の短縮						

表 5. 対策後のリスク評価

(2) 治具の量産化

今回、製作した治具は各機種のテンショナ形状に合わせて、業者へ設計製作を依頼しました。今回作成した治具は同じテンショナを使用している機種であれば、使用できるものとなっています。今後は全国拠点への水平展開を行い、安全なベルト交換作業を推進していきます。

以上

建 荷 協 の 動 き

(令和2年12月1日～令和3年1月31日)

運営幹事会

第26回運営幹事会(令和3年1月15日(金)開催予定)は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から開催を中止し、資料を送付しました。

常設委員会

令和2年度 第3回特自検委員会

月 日：令和2年12月2日(水)

場 所：日本教育会館

議 事：

1. 令和元年度登録検査業者
特自検実施台数結果
2. 令和2年度 巡回指導員テキスト改訂
3. 令和3年度 事業計画の構想について
4. 検査業者の支援制度(案)について
5. その他
 - ・月例点検の促進リーフレット(案)

令和2年度 第3回研修委員会

月 日：令和2年12月10日(木)

場 所：建荷協本部会議室

議 事：

1. 令和2年度の研修・教育実績について
2. 本部研修について
 - ・「新任講師研修」について
 - ・「ベテラン研修講師及び研修管理者の交流・研修会」について
 - ・各社の最新情報について
3. 令和2年度事業計画
4. 委員会日程

令和2年度 第5回広報委員会(令和3年1月8日(金)開催予定)は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から開催を中止し、資料を送付しました。

会員入会状況

令和２年12月１日から令和３年１月31日までの会員の入会状況は次のとおりである。

種別	対象業種別	会 員 数 (社)			
		令和２年 11月末 会員数	令和２年12月１日～ 令和３年１月31日間異動		令和３年 1月末 会員数
			入 会	退 会	
正 会 員	製造業	26			26
	建設業	296	1	1	296
	荷役業	88			88
	製造工業等	43	1		44
	リース・レンタル	667	1	1	667
	検査・整備業	2,832	4	5	2,831
	その他業種	177		2	175
賛 助 会 員		15			15
総 数		4,144	7	9	4,142

新入会員名簿

会員番号	名 称	〒	所在地	電話番号
30885	(株)共栄	018-5337	秋田県鹿角市十和田末広字紀ノ国平43- 2	0186-35-4812
50148	山崎マシーナリー(株)	438-0216	静岡県磐田市飛平松216- 1	0538-66-1211
61262	(株)ワキタ 和歌山営業所	641-0036	和歌山県和歌山市西浜894- 4	073-445-8000
76260	IS サービス	870-0171	大分県大分市法勝台 3 - 9 - 6	097-521-3796
76261	(有)藤山自動車工業	592-8341	大阪府堺市西区浜寺船尾町東 1 丁105	0722-66-4677
76262	(株)KO-CA	783-0029	高知県南国市西山1089番地 6	088-821-8481
76263	(有)山田モータース	509-5202	岐阜県土岐市下石町304-389	0572-57-2411

令和 3 年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表

令和 3 年度における当協会の支部が行う研修・教育の実施予定は別表 1・2 及び 3 のとおりです。

受講される場合は、毎号の機関誌（又は当協会のホームページ）を参考に、支部で実施予定を確認の上、お申込みください。なお、当協会の会員以外の事業所の方も受講できます。

事業所は、退職、異動等で検査者の不足が生じないよう資格取得研修の受講を計画してください。

1. 特定自主検査資格取得研修

（別表 1）

厚生労働省の告示及び通達に基づく、事業内検査者及び検査業者検査員の資格取得のための研修です。

2. 特定自主検査者能力向上教育

（別表 2）

厚生労働省の通達に基づき、「フォークリフト」「整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械」「締固め用機械」「基礎工事用機械」「コンクリート打設用機械」並びに「高所作業車」の特定自主検査者の業務に従事しておおむね5年以上経過した方を対象に、技術、知識を付与することを目的とした教育です。

3. 実務研修及び安全教育

（別表 3）

・実務研修「記録表作成コース」

他の法令で資格を取得された方（建設機械施工士他）や記録表の記入要領について再び学びたい方などを対象に、特定自主検査の法令上の位置付け、検査方法、及び具体的な記録表の書き方

などについて学ぶことができます。

なお、このコースには座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（フォークリフト）コース」

定期自主検査の中でも月次検査については、特定自主検査の検査員資格がなくても検査を行うことができます。日頃フォークリフトの整備や運転業務に従事されている方を対象に検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（車両系建機）コース」

上記フォークリフトに引き続き車両系（整地・運搬等）の月次検査についても検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「検査業者業務点検コース」

登録検査業者として、正しい管理運営の在り方について点検表に基づいて、内容を理解しながら研修をします。

・安全教育

厚生労働省の通達に基づき定期自主検査対象であるクレーン機能付油圧ショベルのクレーン部分（「建機付属クレーン部分」という。）並びにショベルローダー等の定期自主検査者を対象とした安全教育です。

※研修・教育の予定は、都合により中止・延期等変更になる場合がありますので事前に関係支部にお問い合わせください。また令和 3 年 3 月分および最新の予定は協会HPをご覧ください。

令和 3 年度 特定自主検査資格取得研修（事業内） 予定表（別表 1）

（令和 3 年 2 月 1 日現在）

地区	支部	フォークリフト			車両系建設機械		
					整地・運搬・積込・掘削・解体用機械		
北海道・東北地区	北海道	7/14～16 EF					
	青森	9/3～4 EF			5/14～15 EF		
	岩手						
	宮城						
	秋田						
	山形						
	福島				8/27～28 EF		
関東地区	茨城	6/21～22 EF			5/12～13 EF		
	栃木	4/9～10 EF			12/10～11 EF		
	群馬	10/15～16 EF					
	埼玉	8/25～27 EF			2/2～4 EF		
	千葉	4/15～17 EF	9/16～18 EF		7/7～9 EF		
	東京						
	神奈川	7/8～10 EF	11/11～13 EF		8/16～18 EF		
中部地区	新潟						
	富山						
	石川						
	福井						
	山梨						
	長野	11/10～12 EF					
	岐阜						
	静岡	6/17～18 EF	7/9～10 EF		4/15～16 EF	5/28～29 EF	
	愛知	3/10～12 EF			3/1～3 EF		
近畿地区	三重	10/22～24 EF			9/10～12 EF		
	滋賀						
	京都						
	大阪	2/15～20 EF					
	兵庫						
	奈良				9月初旬 EF		
	和歌山						
中国地区	鳥取	9/15～17 EF					
	島根						
	岡山	8/2～3 EF			5/31～6/1 EF		
	広島				10/14～15 EF		
	山口	5/21～22 EF			8/27～28 EF		
四国地区	徳島						
	香川						
	愛媛	9/16～18 EF			7/15～17 EF		
	高知				10/22～23 EF		
九州・沖縄地区	福岡	9/16～18 EF			7/8～9 EF		
	佐賀	6/2～3 EF			10/12～13 EF		
	長崎						
	熊本	10/23～24 EF					
	大分						
	宮崎						
	鹿児島						
	沖縄						

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（事業内）予定表（別表1）

（令和3年2月1日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車	
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道					
	青森					
	岩手					
	宮城					
	秋田					
	山形					
	福島					
関東地区	茨城		6/9～10 EF		9/7～8 EF	
	栃木			10/29～30 EF		
	群馬				9/17～18 EF	
	埼玉		6/15～17 EF		1/26～28 EF	
	千葉				7/27～29 EF	
	東京				6/17～19 EF	9/9～11 EF
	神奈川				3/3～5 EF	
中部地区	新潟					
	富山					
	石川					
	福井					
	山梨					
	長野					
	岐阜					
	静岡				10/1～2 EF	1/19～20 EF
	愛知	4/6～8 EF				
近畿地区	三重				11/12～14 EF	
	滋賀					
	京都					
	大阪					
	兵庫					
	奈良					
中国地区	和歌山					
	鳥取				10/13～15 EF	
	島根					
	岡山					
	広島					
四国地区	山口				6/10～12 F	
	徳島					
	香川					
	愛媛		10/21～23 EF		5/20～22 EF	
	高知					
九州・沖縄地区	福岡				11/19～21 EF	
	佐賀		7/7～8 EF			
	長崎					
	熊本					
	大分					
	宮崎					
	鹿児島					
	沖縄					

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和 3 年度 特定自主検査資格取得研修（検査業） 予定表（別表 1）

（令和 3 年 2 月 1 日現在）

地区	支部	フォークリフト				車両系建設機械	
						整地・運搬・積込・掘削・解体用機械	
北海道・東北地区	北海道	5/26～28 BCD	7/7～9 BCD	8/25～27 BCD	9/27～10/1 A	6/16～18 BC	9/15～17 BC
	青森	8/19～21 BCD					
	岩手	6/16～18 BC				7/20～22 BC	
	宮城	9/16～18 BC				6/21～23 BC	
	秋田	6/10～12 BC				7/22～24 BC	
	山形	10/26～28 BCD				6/15～17 BC	
	福島	7/14～16 BC					
関東地区	茨城	5/24～26 BCD	10/4～6 BCD			7/5～9 ABC	
	栃木	7/9～11 BC				6/16～18 BC	
	群馬	7/8～10 BC				9/3～5 BC	
	埼玉	7/12～16 ABCD	3/7～11 ABCD			12/6～10 ABC	
	千葉	6/17～19 BC	12/16～18 BC			10/25～27 BC	
	東京						
中部地区	神奈川	6/17～19 BC	10/21～23 BC			9/8～10 BC	
	新潟	6/2～6 ABCD	8/5～7 BCD			6/17～19 BC	
	富山	9/8～10 BC				7/7～9 BC	
	石川	6/24～26 BC					
	福井	6/17～20 BC				5/20～22 BC	
	山梨						
	長野	7/7～9 EF				9/8～10 BC	
	岐阜	8/31～9/2 BC				7/6～8 BC	
	静岡	6/8～12 ABC	9/8～10 BC	2/8～10 BC		5/11～15 ABC	12/7～9 BC
近畿地区	愛知	5/28～30 BC	6/18～20 BC	9/16～20 ABC	10/15～17 BC	9/28～30 BC	
	三重	9/3～5 BC				5/21～23 BC	
	滋賀	2/16～18 BCD					
	京都	9/16～18 BC				11/11～13 BC	
	大阪	7/5～11 ABCD	10/19～24 BC			6/8～12 BC	
	兵庫	7/21～23 BCD				9/16～18 BC	
中国地区	奈良						
	和歌山	6/24～26 BC					
	鳥取	9/15～17 BC					
	島根	7/14～16 BC					
	岡山	6/28～7/2 ABC	3/14～16 BC			10/25～29 ABC	
四国地区	広島	11/4～6 BC				10/18～22 ABC	
	山口	9/16～18 BC				7/8～10 BC	
	徳島	7/8～10 BC					
	香川						
九州・沖縄地区	愛媛	6/24～26 BCD	1/14～16 BCD				
	高知						
	福岡	6/23～27 ABCD	1/13～15 BCD			2/16～18 BC	
	佐賀	2/2～4 BC					
	長崎	10/27～31 ABC					
	熊本	6/4～13 ABCD				2/4～13 ABC	
	大分	6/4～13 ABC				8/25～29 ABC	
	宮崎	7/7～11 ABC				9/8～12 ABC	
	鹿児島	10/20～24 ABC				7/7～11 BC	
	沖縄	6/2～6 ABCD				6/23～27 ABC	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（検査業）予定表（別表1）

（令和3年2月1日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車	
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道				6/2～4 BC	9/1～3 BC
	青森					
	岩手				9/7～9/9 BC	
	宮城				7/21～23 BC	
	秋田				6/2～4 BC	
	山形				4/20～22 BC	
	福島				9/9～11 BC	
関東地区	茨城		10/12～14 BC		7/19～21 BC	
	栃木				8/26～28 BC	
	群馬				6/25～27 BC	
	埼玉	10/18～22 ABC	6/14～18 ABC		2/14～18 ABC	
	千葉				10/12～14 BC	
	東京				11/11～13 BC	
	神奈川				1/13～15 BC	
中部地区	新潟				8/26～28 BC	
	富山					
	石川				11/18～20 BC	
	福井				9/9～11 BC	
	山梨					
	長野				6/15～17 BC	
	岐阜				6/1～3 BC	
	静岡				9/16～18 BC	12/21～23 BC
	愛知	3/15～17 BC			6/25～27 BC	11/5～7 BC
近畿地区	三重		7/2～4 BC		6/18～20 BC	
	滋賀					
	京都				7/1～3 BC	
	大阪				9/8～10 BC	
	兵庫			10/20～22 BC	3/2～4 BC	
	奈良					
	和歌山					
中国地区	鳥取				10/13～15 BC	
	島根					
	岡山	11/29～12/1 BC			7/12～14 BC	2/14～18 ABC
	広島				9/7～11 ABC	
四国地区	山口				6/10～12 BC	
	徳島					
	香川					
	愛媛				10/14～16 BC	
九州・沖縄地区	高知					
	福岡				10/20～24 ABC	
	佐賀				8/3～5 BC	
	長崎					
	熊本					
	大分		9/17～19 BC		10/15～17 BC	
	宮崎		6/10～12 BC		9/30～10/2 BC	
	鹿児島				5/26～30 ABC	
	沖縄	11/24～28 ABC			10/20～24 ABC	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和 3 年度 特定自主検査能力向上教育予定表 (別表2)

(令和 3 年 2 月 1 日現在)

地区	支部	フォークリフト				車両系建設機械								高所作業車	
						整地・運搬・積込、掘削及び解体用			基礎工事用		締固め用		コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道	6 / 9				6 / 25									
	青森	8 / 25				8 / 27									
	岩手	8 / 5													
	宮城	10 / 15				4 / 23								8 / 20	
	秋田	9 / 7				9 / 8									
	山形	7 / 23				8 / 27								6 / 29	
	福島	6 / 24	8 / 6	9 / 22		6 / 17	9 / 17				10 / 20			8 / 5	
関東地区	茨城	7 / 13	12 / 7			6 / 29	2 / 8				6 / 8			9 / 6	
	栃木	6 / 9				4 / 22						8 / 1			
	群馬	10 / 18				4 / 22	10 / 14							9 / 24	
	埼玉	10 / 6				9 / 8			10 / 27		3 / 2			5 / 19	
	千葉	9 / 3				9 / 28									
	東京	7 / 8												10 / 20	
	神奈川	12 / 10				10 / 14									
中部地区	新潟	7 / 14				7 / 28								9 / 8	
	富山	6 / 3				6 / 29	7 / 14				9 / 16			8 / 3	
	石川	8 / 4				8 / 25								6 / 9	
	福井	10 / 19				7 / 22								8 / 26	
	山梨	7月下旬				6月下旬									
	長野	8 / 27				9 / 17					6 / 25			7 / 28	
	岐阜	2 / 8				6 / 22								6 / 14	
	静岡	1 / 13	2 / 5			8 / 7	9 / 25				6 / 5			6 / 23	7 / 3
	愛知	7 / 15	8 / 19			7 / 6			3 / 23		7 / 13			7 / 2	
近畿地区	三重	8 / 27				6 / 4								7 / 9	
	滋賀	7 / 28													
	京都	1 / 18				8 / 27									
	大阪	1 / 26													
	兵庫	9 / 10				11 / 26						11 / 19	2 / 25		
中国地区	奈良														
	和歌山														
	鳥取	9 / 3				11 / 26									
	島根	8 / 5													
	岡山	9 / 27	10 / 18			9 / 15	11 / 11	11 / 24							
四国地区	広島	6 / 8	6 / 15	6 / 22		7 / 6	7 / 13	7 / 20						7 / 7	7 / 27
	山口	11 / 12				11 / 26								10 / 23	
	徳島	11月初旬				6月下旬									
	香川	10 / 23												8 / 28	
	愛媛	8 / 21				8 / 28									
九州・沖縄地区	高知					11 / 18									
	福岡	8 / 6				2 / 4								12 / 9	
	佐賀	11 / 25				11 / 25				9 / 16			9 / 16		
	長崎	8 / 3	3 / 25			6 / 9	8 / 4			9 / 22	11 / 10				
	熊本	9 / 11				1 / 29									
	大分	11 / 13				10 / 23									
	宮崎	7 / 16				6 / 18	7 / 2							1 / 8	
鹿児島	9 / 4				8 / 21										
沖縄	1 / 14				12 / 10								8 / 27		

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した教育を示します。

令和 3 年度 実務研修、定期自主検査安全教育予定表 (別表 3)

(令和 3 年 2 月 1 日現在)

地区	支部	実務研修								安全教育			
		記録表作成コース				月次定期自主検査 (フォークリフト)		月次定期自主検査 (建機)		業務点検 コース	建機付属 クレーン部分	ショベル ローダー等	
		座学		実技		座学	実技	座学	実技				
北海道・東北地区	北海道	10/13									6/22		
	青森									6/5			
	岩手	11/5		6/29	7/16					10/14	11/19		
	宮城	9/10	11/12								11/26		
	秋田	5/18	8/24	11/25						8/27	10/20	7/6	
	山形	7/16	9/9								5/12		
関東地区	福島	7/1									6/23		
	茨城			8/24	1/19					10/26	5/18	1/27	
	栃木	11/26								2/4	9/3	10/22	
	群馬	6/3								10/21	11/8		
	埼玉	11/17				6/2				12/15	7/7		
	千葉	1/27								11/5	8/18	12/7	
中部地区	東京												
	神奈川	9/3	11/26			9/17					10/15		
	新潟	10/20								10/13	7/7		
	富山	2/17											
	石川			9/29	10/27					3/23	10/15		
	福井	6/24				9/2							
近畿地区	山梨	9月下旬									11月下旬		
	長野	7/15									6/9		
	岐阜	6/23	11/16							10/14	7/20	7/21	
	静岡	8/20	9/4	10/6						11/11	6/3	1/22	2/16
	愛知	11/6	12/14	1/15									
	愛知	8/4		8/2						11/25	9/7	8/25	
中国地区	三重	5/28	6/23	9/29		8/27		8/5		1/28	6/9	7/31	
	滋賀												
	京都										10/15		
	大阪	1/12										11/24	
	兵庫	2/10	2/18			3/11				8/20	6/18	1/26	
	奈良										7月下旬		
四国地区	和歌山	11/6									11/7	1/13	
	鳥取										11/19		
	島根	11/17									6/22		
	岡山			7/5							8/30		
	広島	7/8	2/3									6/4	
	山口										4/16		
九州・沖縄地区	徳島										6月下旬		
	香川									6/26			
	愛媛	4/17		11/27						7/28	4/10	1/22	
	高知	11/18									10/22		
	福岡			9/29				3/11			8/20	7/23	
	佐賀	8/20									9/3		
九州・沖縄地区	長崎			11/14	12/17		11/9		11/9				
	熊本	6/26	3/12							8/28	11/13		
	大分	7/3				7/17		9/25			6/26		
	宮崎	1/15		5/15	6/5		5/8			8/2	4/17	4/10	
	鹿児島	12/11				6/19		4/17			8/7		
	沖縄	9/10						7/15	7/16		8/13	5/14	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。
 注2 表中の網掛けは終了した研修・教育を示します。

令和 3 年度 運転技能講習予定表

(令和 3 年 1 月 14 日現在)

●フォークリフト												
秋 田				7/16～		9/17～						
茨 城	4/14～	5/10～	6/9～	7/8～	8/18～	9/13～	10/11～	11/12～	12/9～	1/13～	2/10～	3/14～
石 川		5/20～				9/2～						
山 梨		5 月		7 月		9 月		11 月				
大 阪	5/12～		6/16～			9/15～	10/6～	11/2～				3/2～
兵 庫	4/9～											
長 崎		5/13～		7/8～	8/26～	9/9～	10/14～		12/9～		2/17～	
熊 本				7/22～								
宮 崎	4/21～	5/19～	6/23～		8/25～		10/20～					

●車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）												
兵 庫							10/14～					
鳥 取							10/28～					
鳥 根						9/21～						
長 崎			6/10～							1/13～		

●車両系建設機械（解体用）												
鳥 取		5/14～										

●不整地運搬車												
鳥 取				7/15～								
鳥 根			6/2～									

●高所作業車												
青 森	4/10～	5/22～	6/19～	7/9～		9/18～	10/16～	11/13～				3/12～
群 馬		5/29～				9/25～						
滋 賀	4/7～		6/8～	7/6～		9/7～	10/13～		12/1～			
奈 良		5/21～		7/17～		9/17～		11/27～				3/19～
鳥 取	4/14～				8/18～							
鳥 根						9/3～						
沖 縄	4/9～		6/18～	7/9～			10/15～	11/12～			2/18～	

注1 各講習会日程の最初の日を掲載しています。詳細は該当支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した講習を示します。

お知らせ

〔令和3年度〕
各種研修の受講料

1 資格取得研修

(A) 事業内検査者研修

(単位：円)

(B) 検査業者検査員研修

(単位：円)

研 修 の 種 類	14時間コース		8.5・9.5時間コース		5.5時間コース		35時間コース		21時間コース		18時間コース		13時間コース	
	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般
1 フォークリフト	47,850	51,920	43,450	47,520	42,350	46,420	76,450	80,520	54,450	58,520	52,250	56,320	51,150	55,220
2 整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械	56,210	63,580	51,810	59,180	—	—	89,210	96,580	66,110	73,480	61,710	69,080	—	—
3 基礎工事用機械	58,190	65,120	53,790	60,720			91,190	98,120	66,990	73,920	62,590	69,520		
4 締固め用機械	49,390	53,790	44,990	49,390			77,990	82,390	55,990	60,390	53,790	58,190		
5 コンクリート打設用機械	63,800	68,970	58,300	63,470			113,300	118,470	80,300	85,470	78,100	83,270		
6 高所作業車	51,920	57,200	47,520	52,800			86,020	91,300	62,920	68,200	60,720	66,000		

2 能力向上教育

(単位：円)

3 実務研修

(単位：円)

研 修 の 種 類		座学コース		実技コース	
		会員	一般	会員	一般
記録表作成 コース	フォークリフト	12,760	14,960	18,260	20,460
	整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械	13,090	15,400	18,590	20,900
	基礎工事用機械	13,090	15,400	18,590	20,900
	締固め用機械	12,870	15,070	18,370	20,570
	コンクリートポンプ車	12,870	15,070	18,370	20,570
	高所作業車	12,760	14,960	18,260	20,460
月次定期 自主検査 コース	フォークリフト	6,710	7,260	12,210	12,760
	車両系建機	9,240	9,680	14,740	15,180
検査業者業務点検コース		会 員		一 般	
		9,350		10,230	
4 安全教育 (単位：円)					
教 育 の 種 類		会 員		一 般	
建機付属クレーン部分		7,480		8,030	
ショベルローダー等		12,980		15,070	

4 安全教育

(単位：円)

教 育 の 種 類	会 員	一 般
建機付属クレーン部分	7,480	8,030
ショベルローダー等	12,980	15,070

- (注) 1. 受講料には、テキスト代及び消費税10%が含まれています。
 2. 当協会会員所属の受講者の受講料は、協会が教材費の一部を負担した額です。
 3. 本表に含まれるテキスト代以外の教材類を追加する等の際は、本表受講料と異なる場合があります。
 4. 受講料は、研修を実施する建荷協・支部に納金してください。

特定自主検査者資格取得者名簿

(令和2年12月1日～令和3年1月31日)

資格の種類ごとに氏名五十音順・敬称略

事業内検査者資格取得者

■フォークリフト

飯田陽一	内田貴之	吉良颯真	谷本隆英	新里貴輝	水野吉章
石田裕	潤勝彦	小林寛志	恒松貴大	橋本強	宮城島務
石原欣泰	大西恭平	合津昭久	寺川朋喜	馬場春希	柳原辰夫
井上景太	奥篤朋	齋藤公志	富沢克己	藤井茂喜	山口大輔
入口英勝	尾島翔	坂田義彦	中右博久	藤井欣也	山口真民
岩男浩二	香月海児	佐々木和明	中臺敏行	松尾亮	山本久仁昭
岩城和広	金井司	佐野吉男	中野将太郎	真鍋竜之介	弓立貞夫
岩村俊彦	菊谷寛臣	高村豪	中村正人	馬渡晴久	六川昇
内柴祐三					

■整地・運搬・積み込み用・掘削用及び解体用機械

浦五克正	片石洋司	後藤和夫	宿谷亮輔	十河宏行	中村秀一
浦島敬之	加藤斉	佐々木宗徳	庄野法生	谷口友久	生井秀樹
片石賢一	菊谷寛臣	佐藤雅之	菅原伸一	刀禰田裕一	松村慶紀

■締固め用機械

片石賢一	片石洋司	萩原洋	吉原徹		
------	------	-----	-----	--	--

■コンクリート打設用機械

寺崎貴志					
------	--	--	--	--	--

■高所作業車

天野裕士	入口英勝	沓掛雄太	権正圭輔	田嶋和久	松本哲也
一木俊浩	上山巖	強瀬明成	佐藤高行	野宮博文	水原大輔
井上知久	大久保龍	後藤敦	渋谷真一		

検査業者検査員資格取得者

■フォークリフト

相内宣明	大石健	黒木晃一	芹川健一郎	中向総志郎	三浦彰也
赤井大陸	大上知樹	小古井洋	高橋和宏	中村晃士	翠尾兼悟
阿形洋輔	大下和宏	小林光志	高橋信之	中村崇斗	溝上丈誠
浅井隆弘	大田優央	小村駿平	高本湧二	中村洸二	宮崎飛翔
阿部公太	大塚翼	後藤和希	高柳健翔	永野敦也	宮田さゆり
阿部佑哉	大貫衛	權藤真也	竹内麻雄	新田悠真	宮本大介
天野達也	大羽宗清	榊原克海	竹内佑真	西島永佑	宮村昭知
飯島直人	小川侑希	坂下和彦	田中聡平	橋口光史	村谷雄太
飯田健康	小奥直章	坂田朋弥	田中哲聖	浜田篤太	森安直剛
石川健康	小尾崎康治	坂水功友	田中瑠博	演田仁勇	山口紘
石塚健一	小野田浩旨	笹藤啓秀	塚本一美	演田中龍	山口達也
市川直貴	恩河村遼	佐藤駿成	角田一諒	平野孝幸	山口将介
伊藤竜矢	加治佐楓	佐野良弥	富山将紀	古井湧也	山下雄夫
稲口智章	桂田憲一	嶋田侑一郎	土肥博亮	古保心誠	山田昭裕
稲場修平	門戸正彦	島西良一	中澤幹樹	堀田正憲	山岡和弘
稲福正仁	金東達英	上宮晃暉	中澤優輝	堀井宏治	横吉茂立
井上斗生	川西健響	菅田章則	中田裕貴	松浦耕一	吉田雅人
井上仁光	河村竜剛	杉谷木吉	中根光利	松村本広	吉渡邊
今泉広夫	河川木村	鈴鈴住関	中野泰隆		
上原翔平	木村篤志				
梅原修作	草野海斗				
海老原優大					

■整地・運搬・積み込み用・掘削用及び解体用機械

阿部拓也	小谷唯斗	古宮裕司	末廣亮祐	道明昭男	廣兼貴之
飯尾文孝	甲斐竜介	呉屋光俊	杉本義行	仲門洋平	藤島琢也
池谷智士	加藤博	齋藤伸輝	鈴木翔哉	仲野航己	松下修悟
伊藤悟	加藤芳明	酒井昌紀	高橋寛迪	永田紘祐	松本裕亮
井上聡孝	川崎諒真	坂上幸広	高橋浩二	長見圭祐	三上聖
岩島裕守	川瀬大地	佐口彰洋	滝本崇徳	能野されむ	森岡光星
漆原守栄	川中徳一	佐藤靖浩	田中貴将	原田正芳	山口哲朗
大島香宣	神原拓実	佐藤慶春	東郷悟彦	原田弘	山崎修一
太田由幾	木曾智久	澤木俊二	徳中慶彦	平尾有輝	山崎史弥
大宮利亮	小池宏幸	篠原圭			
小笠原亮					

■基礎工事用機械

伊 藤 郁 | 里 崎 貴 臣 | 畑 島 誠 也 | | |

■締固め用機械

峯 村 真 司 | 森 谷 伸 一 | 山 下 勇 治 | | |

■コンクリート打設用機械

溝 渕 剛 士 | 村 上 修 一 郎 | | | |

■高所作業車

青 木 俊 介	上 原 祐 太	小 山 雄 大	下 位 孝 治	出 口 智 彦	樋 口 浩 一
浅 井 宏 晃	大 森 次 郎	近 藤 和 也	水 田 達 也	中 園 晃 太 朗	平 山 壽 和
東 哲 也	大 藪 靖	齋 藤 広 昭	菅 原 耕 太 郎	仲 地 輝 彦	松 嶋 龍 志
荒 川 泰 三	小 野 寺 誠	竿 本 幸 嗣	鈴 木 真 吾	永 江 謙 二	宮 脇 涉
安 生 竜 也	折 笠 秀 明	坂 田 健 次	高 桑 雅 光	長 瀬 広 明	安 原 麻 斗
一 色 良 昭	垣 内 成 介	櫻 井 利 弥	高 橋 宏 典	生 川 昂 輝	柳 谷 英 昇
石 川 侑 司 郎	勝 嶋 毅	櫻 井 雄 二	田 口 純 一	野 村 義 人	山 本 耕 平
板 垣 圭 介	葛 山 聡 史	佐 々 木 大 樹	武 田 征 晃	橋 本 朗	山 本 儀 人
井 田 和 宏	加 藤 寛 隆	佐 藤 光	武 部 秀 喜	濱 田 広 志	横 川 治
伊 藤 翔 吾	亀 井 秀 樹	佐 藤 宏 行	橘 健 太	濱 田 学	吉 崎 秀 樹
伊 藤 賀 信	苅 安 徳 一	佐 藤 佑 紀	橘 秀 典	濱 本 海 渡	吉 田 健 二
井 上 智 博	川 端 健 三 郎	佐 藤 諒	恒 松 勝 矢	原 田 博 文	吉 田 光 弘
上 田 智 大	木 村 大 地	塩 濱 和 之	寺 下 恭 平	馬 場 佳 祐	和 田 唯 史
上 野 ヒロト					

お知らせ

けんきにきょう 建荷協発行図書等のご案内

令和3年度版

安全を みんなでつくる 特自検



建設荷役車両安全技術協会

ご案内する図書等は公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会（略称 建荷協（けんきにきょう））都道府県各支部にてご購入いただけます。

■ 特定自主検査制度の入門解説

特定自主検査制度についての入門編

安全と特定自主検査のおはなし

「なぜ特定自主検査が必要なのか？特定自主検査とはどのようなものか？」をご理解いただけるよう、イラストを使いわかり易く解説したものです。

(H25.6改訂C版発行)



特定自主検査の対象機械について

特定自主検査対象機械の概要

特定自主検査を行うべき機械等の代表的なものを写真、図で示し、特徴、用途などの概要をまとめたものです。

また、一部対象外機械についても掲載しています。

(H29.3改訂D版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
安全と特定自主検査のおはなし	PC-ZC-02-C	220 円	330 円

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査対象機械の概要	SC-ZC-01-D	660 円	1100 円

■ 特定自主検査済標準

特定自主検査 実施年月の明示

特定（定期）自主検査済標準

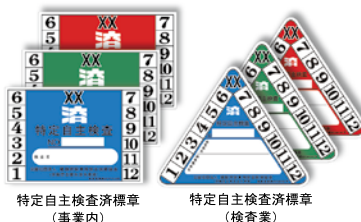
・特定自主検査済標準

労働安全衛生規則に基づき、フォークリフト、不整地運搬車、車両系建設機械及び高所作業車について、年1回（不整地運搬車は2年に1回）実施することとされている特定自主検査を行った年月を明らかにするため、厚生労働省のご指導のもとに作成した標準です。検査業者用と事業内用とがあります。

・定期自主検査済標準

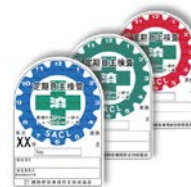
労働安全衛生規則に基づき、「建機付属クレーン部分」、「ショベルローダー、フォークローダー及びストラドルキャリアー」について、年1回実施することとされている定期自主検査（年次検査）を行った年月を明らかにするため当該機械に貼る標準です。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査済標準（事業内）	BP-LH-03	330 円	990 円
特定自主検査済標準（検査業）	BP-LR-03		
定期自主検査済標準	BP-LR-03		



特定自主検査済標準（事業内）

特定自主検査済標準（検査業）



定期検査済標準

【注記】 検査済標準の色は、毎年1月1日をもって暦年ごとに変更されます。旧年発行の標準は同日以降使用できませんのでご注意ください。

特定自主検査に係る標準等について

標準の使い方から管理まで

特定自主検査を行ったときに貼付する標準等の取扱いについて解説したものです。

(H27.4改訂E版発行)

品 名	品 番	会員価格	一般価格
標準の使い方から管理まで	BC-ZC-05-E	220 円	330 円



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 特定自主検査の実施

検査方法と判定基準

定期自主検査指針

労働安全衛生法、第45条第3項の規定に基づき公示にされた特定(定期)自主検査の検査項目、検査方法および判定基準をまとめたものです。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
フォークリフト	SG-LC-01-A	330 円	440 円
不整地運搬車	SG-GR-01	220 円	330 円
車両系建設機械	SG-KC-01-B	440 円	550 円
高所作業車	SG-HL-01	330 円	440 円
フォークリフト(月次)	SG-LC-11-A	220 円	330 円



検査結果の記録

特定(定期)自主検査記録表

特定(定期)自主検査を行った際に、当該機械の検査結果および補修措置等を記録しておくものです。

- ・記録表は3年間の保存義務があります。
- ・記録表は公益社団法人建設荷役車両安全技術協会の著作物です。無断で複製、転用することを禁じています。
- ・記録表は機械性能の向上に伴い随時改訂しています。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定(定期)自主検査記録表(普通紙)	1冊50部	495 円	770 円
特定(定期)自主検査記録表(ノンカーボン)	1冊25部(正副2枚で1部)	737 円	1100 円



記録表の記入方法

特定自主検査記録表の記入要領

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。

最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。

(R2.4改訂Q版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録表の記入要領	TC-ZC-02-Q	440 円	550 円

記録表の保存

特定自主検査記録簿

省令により3年間保存義務がある特定自主検査記録表をファイリングしておくためのものです。



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録簿	BP-ZC-03	110 円	165 円

特定自主検査業務を適正に行うための帳簿

特定自主検査台帳

- ・特定自主検査台帳 事業内用

特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、保有機械の特定自主検査実施状況管理に使用する「標章貼付簿」を一体にしたものです。

- ・特定自主検査台帳 検査業者用

特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、特定自主検査業務を適正に行うための「特定自主検査台帳」、検査料収納の管理に使用する「検査料金収納簿」を一体にしたものです。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査台帳 事業内用	BC-ZC-04-A	500 円	825 円
特定自主検査台帳 検査業者用	BC-ZC-07	1650 円	2200 円



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

■ 検査者標識

検査者標識は、「検査者であることを第3者が識別できる」とこと、「検査者としての意識の高揚」を目的として検査者に着用させるものです。

協会では**腕章**及び**ワッペン**（作業服等にアイロンで接着させる方式）とヘルメット等に貼付できる**シール**を用意しています。

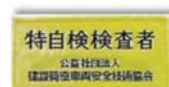
・検査者腕章、特自検腕章

特定自主検査資格者であることを示すため着用するものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査者腕章	BP-YC-01	1100 円	1650 円
検査者ワッペン	BP-YC-02	330 円	550 円



検査者腕章



検査者ワッペン

・検査者シール（検査業者用、事業内用）

検査者が特定自主検査を行える資格の種類（検査業者、事業内）、機種を示すためのものです。

特定自主検査対象機種	検査業者用	事業内用	会員価格	一般価格
フォークリフト	BP-YC-11-A	BP-YC-21	110 円	165 円
整地・運搬・積込用・掘削用および解体用機械	BP-YC-12-A	BP-YC-22		
基礎工事用機械	BP-YC-13-A	BP-YC-23		
締固め用機械	BP-YC-14-A	BP-YC-24		
コンクリートポンプ車	BP-YC-15-A	BP-YC-25		
高所作業車	BP-YC-16-A	BP-YC-26		
不整地運搬車	BP-YC-17-A	BP-YC-27		



■ 教育資料

当協会では実施する特定自主検査者資格取得研修および能力向上教育等で使用されている図書です。

・特定自主検査マニュアル 特定自主検査の検査方法等を機種、部位別に解説しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査機器	TQ-ZC-01-E	660 円	990 円
原動機（ディーゼル・ガソリン）	TQ-KE-01-F	2420 円	3630 円
油圧装置	TQ-KH-01-E	1540 円	1980 円
上部旋回体 下部走行体	TQ-KB-01-E	2420 円	3080 円
ジブ・リーダー・ワイヤーロープ	TQ-KJ-01-D	1210 円	1540 円
フォークリフト	TQ-LC-02-G	1320 円	1980 円
不整地運搬車	TQ-GR-01-E	880 円	1320 円
車両系建設機械（整地等用）	TQ-GC-02-A	3300 円	5280 円
〃（基礎工事用）	TQ-FC-01-E	3080 円	4620 円
〃（締固め用）	TQ-RC-01-D	1210 円	1760 円
〃（コンクリート打設用）※改訂	TQ-CP-01-F	1100 円	1760 円
高所作業車	TQ-HL-01-E	1430 円	2200 円
特定自主検査と補修	TC-ZC-01-F	550 円	880 円



・能力向上教育テキスト 機種別に最新の技術等を紹介しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト	TL-LC-01-E	3520 円	5280 円
整地・運搬等&ブレイカ	TL-GE-01-F	3630 円	5500 円
締固め用機械	TL-RC-01-C	1650 円	2530 円
基礎工事用機械	TL-FC-01-D	1980 円	2970 円
不整地運搬車	TL-GR-01-B	660 円	990 円
コンクリートポンプ	TL-CP-01-D	1540 円	2420 円
高所作業車	TL-HL-01-D	990 円	1540 円



・その他

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト安全運転テキスト	T0-LC-02-B	1540 円	1540 円
ショベルローダー等定期自主検査マニュアル検査・整備基準値表	TQ-SR-02-C	1760 円	2640 円
業務点検コーステキスト	TT-YC-01-C	1100 円	1650 円

【注記】 ※改訂 は 4/1 より頒布開始になります。



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

■ 特定自主検査業務の管理

特定自主検査の適正実施のために

特定自主検査業務マニュアル

検査業者の業務や事業内検査の業務を適正に遂行するための管理のポイントおよび実務の詳細を説明したものです。

また、特定自主検査全般を管理する事業者が知っておかなければならない労働災害防止に関する法令や事業者の責務等をまとめたものです。(R1.11 発行)

注記) 本書は特定自主検査業務マニュアル検査業者用(BP-ZC-01-F)、事業内検査(BP-ZC-02-E)および特定自主検査とその管理(BC-ZC-06-D)の内容を合わせたものです。



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査業務マニュアル	BC-ZC-08	1650 円	2530 円

特定自主検査制度に関する法令、通達

特定自主検査関係法令通達集

特定自主検査制度に関する法の条文ごとに関係する最新の規則・通達等をまとめたものです。

(H28.3 改訂 J 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査関係法令通達集	BC-ZC-03-J	2310 円	3520 円

特定自主検査の実施経歴の管理

特定自主検査実施経歴書

特定自主検査の実施時期を明確にするとともに、特定自主検査が、いつ、だれが実施したかを記入できるようになっており、機械の履歴管理に活用できます。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査実施経歴書(フォーク)	BP-LC-01	55 円	110 円
経歴書ビニルケース(フォーク用)	BP-LC-02	165 円	330 円
特定自主検査実施経歴書(建機用)	BP-OH-01	55 円	110 円
特定自主検査実施経歴書(解体機用)	BP-OH-02	55 円	110 円

登録検査業者の諸手続きについて

特定自主検査登録検査業者必携

登録検査業者が、厚生労働大臣または都道府県労働局長に登録申請・業務規程変更等の際に留意すべきポイントを解り易く解説したものです。また、参考となる業務規程例を示してあります。

(H31.4 改訂 K 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査登録検査業者必携	BC-ZC-01-K	550 円	880 円

特定自主検査制度についての疑問を解説

特定自主検査に関する Q & A

特定自主検査制度に関するさまざまな疑問を「Q&A 集」としてまとめたものです。

(H26.10 改訂 A 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査に関する Q & A	BC-YC-01-A	440 円	770 円



表記の価格は全て消費税 10% 込の価格です。

お問い合わせ先

LF-YC-01-21 令和 3 年 3 月

支 部 一 覧

令和3年2月1日現在

支部名	〒	所 在 地	電話番号	FAX
北海道	060-0004	北海道札幌市中央区北4条西7丁目 NCO札幌ホワイトビル9階	011(271)7720	011(271)7580
青 森	030-0902	青森県青森市合浦1-10-7	017(765)5432	017(765)5433
岩 手	020-0873	岩手県盛岡市松尾町17-9 岩手県建設会館2階	019(626)2616	019(626)2627
宮 城	983-0842	宮城県仙台市宮城野区五輪1-6-9 五輪黄葉ビル201号	022(298)2150	022(298)2151
秋 田	010-0923	秋田県秋田市旭北錦町1-14 秋田ファーストビル210号室	018(823)8258	018(823)8260
山 形	990-8681	山形県山形市流通センター2-3 山形流通団地組合会館内	023(666)6581	023(666)6582
福 島	960-8035	福島県福島市本町5-8 福島第一生命ビル4階	024(521)8065	024(521)8248
茨 城	311-3116	茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-559	029(292)6546	029(292)6547
栃 木	321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28 卸商業団地協同組合別館202	028(656)6111	028(656)6112
群 馬	371-0805	群馬県前橋市南町4-30-3 勢多会館1階	027(223)3448	027(223)3451
埼 玉	330-0062	埼玉県さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル5階A	048(835)3050	048(835)3055
千 葉	260-0026	千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階303号	043(245)9926	043(245)9927
東 京	102-0072	東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京別館4階	03(3511)5225	03(3511)5224
神奈川	231-0011	神奈川県横浜市中区太田町6-87 横浜フコク生命ビル10階	045(664)1811	045(664)1817
新 潟	950-0961	新潟県新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館内	025(285)4699	025(285)4685
富 山	930-0094	富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館内	076(442)4358	076(442)6748
石 川	920-0806	石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)レンタル事業部事務所2階	076(208)3302	076(208)3303
福 井	910-0854	福井県福井市御幸4-19-25 広田第2ビル2階	0776(24)7277	0776(24)9507
山 梨	409-3867	山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1602 ササモビル2階	055(226)3558	055(226)3631
長 野	380-0872	長野県長野市妻科426-1 長野県建築士会館4階	026(232)2880	026(232)6606
岐 阜	504-0843	岐阜県各務原市蘇原青雲町5-34	058(382)5011	058(382)5120
静 岡	422-8045	静岡県静岡市駿河区西島127	054(236)4008	054(236)4031
愛 知	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 大同生命ビル3階	052(586)0069	052(586)0010
三 重	514-0009	三重県津市羽所町601 アカツカビル4階	059(223)7177	059(223)7180
滋 賀	520-0043	滋賀県大津市中央4-5-33 SKビル2階C	077(521)5260	077(521)5352
京 都	600-8009	京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78 京都経済センター4階	075(351)0250	075(351)0251
大 阪	540-6591	大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMM19階	06(6944)6611	06(6944)6612
兵 庫	650-0024	兵庫県神戸市中央区海岸通8 神港ビル703号	078(332)4936	078(392)8921
奈 良	630-8124	奈良県奈良市三条松町29-3 奈良県電気工事工業組合内	0742(93)5181	0742(93)5181
和歌山	640-8287	和歌山県和歌山市築港3-23 和歌山港湾労働者福祉センター1階	073(435)3337	073(435)3338
鳥 取	682-0802	鳥取県倉吉市東蔵城町12 中部建設会館1F	0858(22)1400	0858(23)4667
島 根	690-0012	島根県松江市古志原2-20-54	0852(27)0340	0852(27)0556
岡 山	700-0907	岡山県岡山市北区下石井2-8-6 第2三木ビル205	086(222)6039	086(222)4296
広 島	733-0011	広島県広島市西区横川町1-11-24 山田オフィスビル202	082(291)1150	082(291)3413
山 口	753-0083	山口県山口市後河原25 愛山会ビル2階	083(932)1858	083(932)1859
徳 島	770-0808	徳島県徳島市南前川町4-14 船橋設計ビル2階	088(622)8243	088(624)8258
香 川	760-0062	香川県高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル113	087(837)3668	087(837)3671
愛 媛	790-0003	愛媛県松山市三番町7-8-1 山本ビル2階	089(941)6740	089(941)7361
高 知	780-0072	高知県高知市杉井流9-11	088(882)5025	088(882)0837
福 岡	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-14 正和ビル4階402	092(474)2246	092(474)2312
佐 賀	849-1301	佐賀県鹿島市大字常広139-2	0954(62)6315	0954(62)6368
長 崎	854-0072	長崎県諫早市永昌町10-8-202	0957(49)8000	0957(49)8001
熊 本	860-0845	熊本県熊本市中央区上通町7-32 蚕糸会館3階	096(356)6323	096(356)6325
大 分	870-0844	大分県大分市花園2-6-51 大分県林業会館4階	097(540)7177	097(540)7127
宮 崎	880-0802	宮崎県宮崎市別府町2-12 宮崎建友会館3階	0985(23)5061	0985(23)5129
鹿児島	891-0123	鹿児島県鹿児島市卸本町6-12 オロシティーホール内	099(260)0615	099(260)0646
沖 縄	901-2131	沖縄県浦添市牧港5-6-3 南海建設4階	098(879)3744	098(879)3757

(注) アンダーラインは変更部分

編 集 後 記

新型コロナウイルス第3波襲来のさなか（2021年1月時点）、皆さま引き続き感染防止策、行動制限を取りながら、毎日を過ごされていることと思います。

このウイルスにより、いくつもの社会的な負の側面が出てきた一方、エッセンシャルビジネスとして「物流」の果たす役割が、あらためて見直されてきています。

中でも、建設荷役車両は、物流をささえる車両として一層大事な役割を担ってきていると認識します。車両を安全かつ適切に可動させるために必要なのは、言うまでもなく定期的なメンテナンス。そのメンテナンスの礎となる定期自主検査指針（フォークリフト）は1981年、当時の労働省（現厚生労働省）からが公布され、今年で40年が経過します。

労働安全衛生法に基づく特定自主検査制度の普及が、労働災害の減少に貢献してきたことを振り返ると、本指針・制度の大切さをあらためて感じます

本年も広報委員として、引き続き特自検制度の普及・拡大に努めてまいります。

[広報委員：加藤 彰秀 記]

機関誌に対するご意見・ご要望等は E-mail：koho@sac1.or.jp までお願いします。

機関誌編集 広報委員会

委員長

山本 泰徳 [池田内燃機工業㈱]

平山 哲也 [大成建設㈱]

副委員長

佐藤 裕治 [住友建機㈱]

兼八 淳 [日本通運㈱]

室町 正博 [日通商事㈱]

委 員

津川 元 [コベルコ建機㈱]

小澤 真一 [事務局：常務理事]

栞原 正行 [コマツ]

水島 敏文 [事務局：広報部]

比留間 茂 [キャタピラー]

吉田 岳 [同]

新谷 勝幸 [日立建機㈱]

田中 喜昭 [コマツ]

加藤 彰秀 [㈱豊田自動織機]

在田 浩徳 [清水建設㈱]

（令和3年2月1日現在）

「建設荷役車両」 VOL. 43 第252号

令和3年2月17日 印刷

令和3年3月1日 発行

発行所 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1（ニュー九段ビル9F）

TEL：03（3221）3661 / FAX：03（3221）3665

URL <http://www.sac1.or.jp/>

編 集 広報委員会

発行人 小澤 真一

印刷所 株式会社東伸企画

ユーザー名 (U) sac1hp パスワード (P) sac1hp

ちょっと待って

まだ使えます、そのエンジン!

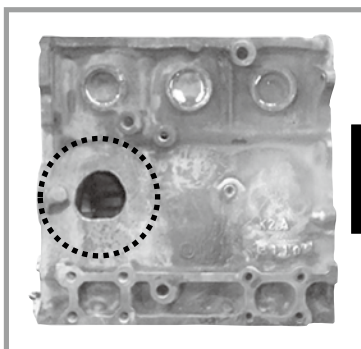
あきらめる前に是非ご一報下さい!!

★シリンダーブロック足出し補修再生★

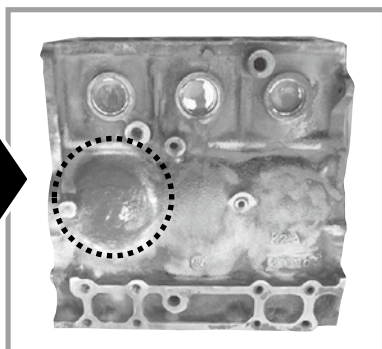


(担当直通: 中川)

E-mail: info@web-krw.com



補修前



補修後

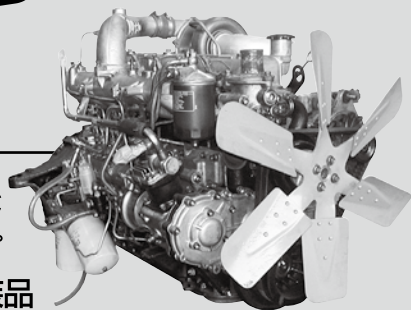
皆さんがお困りの事解決いたします!

リビルト品の活用は 不況脱出の切り札!

★リビルトエンジン、リビルト噴射ポンプ、エンジン付属品リビルト、リビルト電装品のことならおまかせください。

業務内容

- リビルトシリンダーブロック ●リビルトシリンダーヘッド
- リビルトターボチャージャー ●リビルトウォーターポンプ
- リビルト噴射ポンプ ●リビルト噴射ノズル ●リビルト電装品
- 非常用発電機のエンジンメンテナンス ●不良エンジンの買取り・・・まで



新たな気持ちで50周年に向けスタートします。



製品に関するご質問・価格等のお問合せは下記まで。

TEL.076-272-3334 FAX.076-272-3332

詳細はホームページで (👉 URL: <http://www.web-krw.com> E-mail: info@web-krw.com)



ボッシュサービスステーション

株式会社 北日本リビルトワークス 〒920-2132 石川県白山市明島町山142番地1

※ 弊社の全再生品は、整備業者様のみの販売とさせていただきます。(脱着・整備等が困難なため、エンドユーザー様への販売はしていません。)



解体アタッチメント向け超高耐久カップリング

セインのフラットフェースカップリングに耐久性を極めた
超高耐久TLXシリーズが加わりました。

解体作業を効率よく
クリーンに！



撮影協力 宮田土建解体株式会社 様
(茨城県稲城市)



超高耐久

- ・ブレーカー、鉄骨カッター、小割機、大割機等の圧力変動の大きな各種解体アタッチメントに適応します。

分離時液ダレ無し

- ・分離時油モレのないフラットフェースデザインはアタッチメント交換時の環境汚染を防ぎ、作動油の補充量を大幅に削減します。

被圧下分離・接続が可能

- ・油圧回路内に圧力が残った状態での分離、接続が可能です。(レンチ等が必要な場合があります)

ロ TLXシリーズ主な特徴

高合金鋼ボディ

- 高い耐圧力性能を実現します。
- 最高使用圧力42MPa

ピンロック採用

- 振動による緩みを防ぎます。

シール交換可能

- 最も消耗の激しい接続部シールはユーザー交換が可能です。
- その他製品内部のシールも消耗した場合、工場にて分解修理します。

シールプロテクトデザイン

- 接続時、シール材(Oリング)が作動油流路に露出せず、急激な流速変化(サージフロー)が発生した時にシール材をダメージから守ります。



フラットフェースデザイン

- 分離時作動油のモレがありません。
- 作業環境の汚損を防ぎます。
- 異物混入を防ぎ機器の性能を維持、寿命を延ばします。

大きなねじ込みピッチ

- 効率良く接続、分離が可能です。
- 傷つきにくく清掃が容易です。

亜鉛ニッケルメッキ採用

- 高い防食性能を実現します。

キャンペーン
実施中

特設ページでは
詳しい製品情報・価格情報
が入手できます▶▶▶

